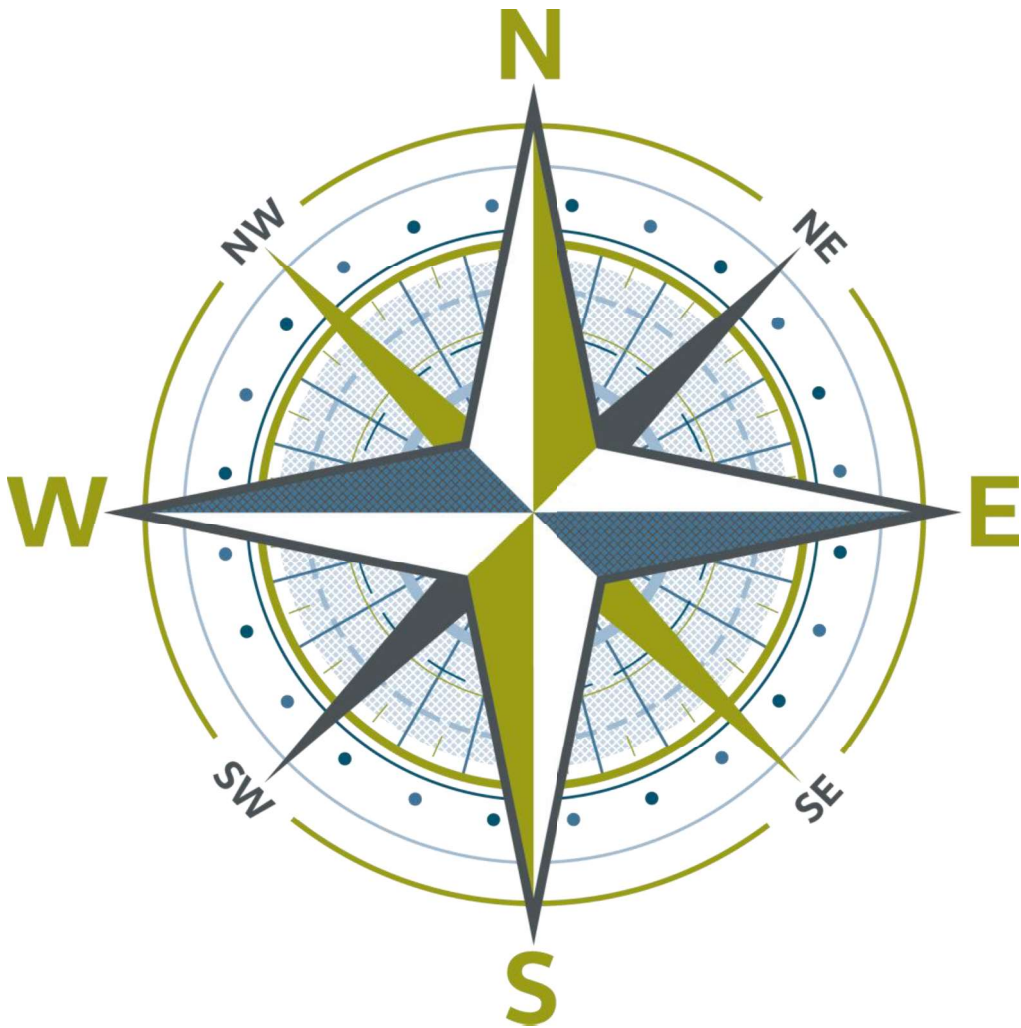


PORSCHE
HOLDING



行動規範
Porsche Holding

目次

1

序文

**a. グループ取締役会による
序文** 2

**b. ポルシェホールディング
取締役会による序文** 3

2

コンプライアンスに対する私
たちの責任 5

3

社会の一員としての私たち
の責任 6

人権	9
機会均等と待遇の均等	10
製品の適合性および安全性	13
環境保護	14
寄付、資金援助、義援金	17
情報提供とマーケティング	18
政治ロビー活動	21

4 ビジネスパートナーとしての 私たちの責任 22

利益相反	25
贈り物、接待、招待	26
汚職の禁止	29
公務員および公職者との取り引き	30
マネーロンダリングおよびテロ資金供与の禁止	32
会計および財務報告	34
税および関税	37
公正かつ自由な競争	38
調達	41
輸出規制	42
インサイダー取引の禁止	44

5 職場における私たちの責任 46

労働安全およびヘルスケア	49
データ保護	50
情報、ノウハウ、知的財産のセキュリティおよび 保護	53
ITセキュリティ	54
会社資産の取り扱い	57

6 サポート 59

従業員代表	60
ヘルプ/連絡先/オンブズパーソンシステム	62
意思決定チェックのための自己診断	65

以下のテキストでは、読みやすさを重視し、一部で男性形のみが使用されています。この形式は、性的に中立であると理解されます。これは編集上の目的のためにのみ使用されているもので、決して偏見に基づくものではありません。

1 序文

a. グループ取締役会による序文

親愛なる同僚の皆様へ

当社および当社製品に対するお客様および利害関係者からの信頼は、私たちの最も貴重な資産です。私たちは、誠実かつインテグリティを持って行動することによってのみ、公衆の信頼を強化し、フォルクスワーゲングループ、その従業員、および環境を保護することができます。これには、適用する社内規則および法的規制を理解し、これらを順守することが含まれます。行動規範は私たちの行動の基礎となります。

当社グループは多様化しています。今現在、ヨーロッパ7か国における12ブランド、約66万4000人の従業員、123の生産拠点、そして150を超える国々にお客様があり、これらはすべてグループワールドの一部です。私たちはすべて、出自、業務、職責の違いにかかわらず、会社の成功と、私たちの態度や行動を通じて持続可能な発展に貢献する責任を共有しています。私たちの共通の価値観は、私たちがどのように仕事をし、どのように意思決定を行い、どのようにして相互に、そしてすべての生物と関わっていくかを決定します。

フォルクスワーゲングループ行動規範は、倫理的で責任ある行動を支援しています。日常業務における指針、支援、アドバイスを提供する実用的で関連性のある例が含まれています。また、間違いを特定して適切に対応するために役立ちます。何故なら、フォルクスワーゲングループでは、目をつぶることが正しい解決策にはならないためです。私たちは声を上げます—たとえそれが気まずいことや不愉快なことであっても。疑わしい場合は、適切なアドバイスや支援を求める必要があります。

私たち、フォルクスワーゲングループ取締役会は、行動規範が当社グループとそのブランドの成功の鍵の1つであると確信しています。したがって、職場で行動規範を使用し、疑問がある場合にはアドバイスを求めるようお願いいたします。皆さんと協力し、フォルクスワーゲングループを、優れた製品とサービスだけでなく、インテグリティと公正さの代名詞ともなる責任ある雇用主にしていきたいと思っております。



Dr. Herbert Diess
Chairman of the Board of Management of
Volkswagen AG and Chairman of the Board of
Management of the Volkswagen Passenger Cars
brand

b. ポルシェホールディング 取締役 会による序文

インテグリティとコンプライアンスの模範であることは、当社の戦略の基本的要素です。当社ポルシェホールディンググループ（以下「ポルシェホールディング」といいます）はフォルクスワーゲングループの不可欠な要素であり、私たち一人一人が会社の利益に従って行動することによってのみ、この責任を担うことができます。

法律、国際条約、内部規制に加え、敬意、信頼、連帯などの企業価値が当社の行動の基礎を形成します。

これらの価値観は常にポルシェホールディングのサクセスストーリーに定着しており、将来におけるすべての決定の基礎を形成していきます。

以下の行動規範は、従業員の基礎として機能し、これは当社の活動の基本原則を集約したものであり、したがって、従業員が日常業務において法的および倫理的課題に対処することを支援します。

私たちは、以下の行動原則にコミットしており、今後も誠実かつ合法的な協力に向けて努力を続けます。



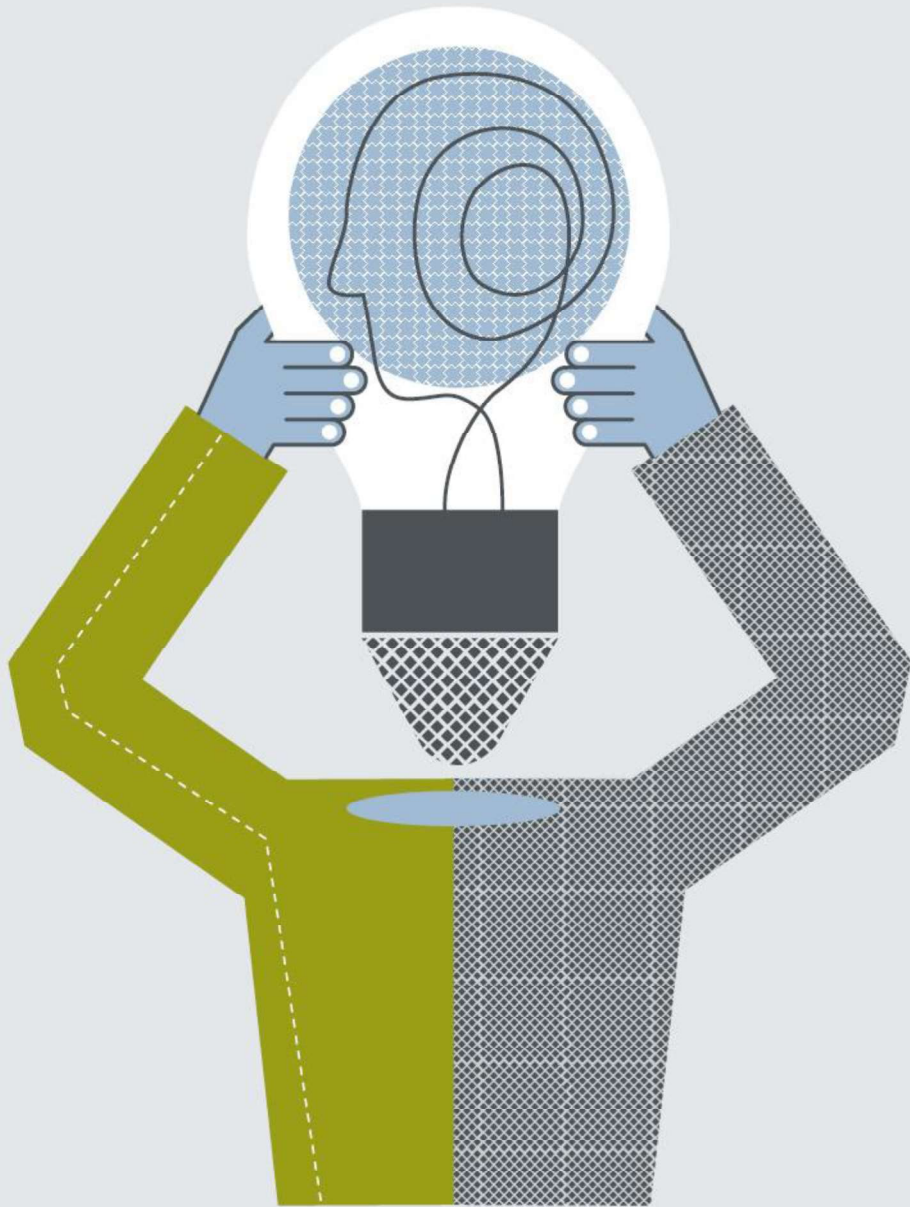
H.P. Schützing



J. Lechner



R. Schroll



2 コンプライアンスに対する 私たちの責任

当社が成功するための決め手の1つに、取締役から管理職、それぞれの一般職に至るすべての従業員が、誠実かつインテグリティ(高潔性)を持って、倫理にかなった態度で行動しなければならないということがあります。これは、当社の社内外への報告や情報が正しく、包括的に、タイムリーに提供されるということも意味します。

私たちの共通目標は、会社に対する責任を果たすこと、および当社グループのブランドへの高い評価を守ることです。持続可能性に貢献するために、私たちの行動の経済的、社会的、および環境的影響への責任を認識する必要があります。

このような行動とは、私たちが、いついかなる場所においても、会社で施行されているルールを尊重し順守するという意味です。取締役および管理職はこの意味で、以下のような特別な責任を負っています。すなわち、模範になるとともに、社内での違反行為を防止すること、従業員を保護すること、そして社内および社外でインテグリティを持った行動を取ることが求められます。

この行動規範は、リスクや対立の可能性がある分野を強調し、会社にとっての重要性が解説されているとともに、事例を使って説明することで、わかりやすい構成になっています。

この行動規範に含まれる内容は、以下の3つの主要セクションに分かれています。

- **社会の一員としての私たちの責任**
- **ビジネスパートナーとしての私たちの責任**
- **職場における私たちの責任**

この行動規範は、私たちの日常業務を規定するガイドラインとして位置づけられます。さらに、社内ガイドラインや雇用契約の規定で補完されます。また、言うまでもなく、私たちは国内および国際的な法規条項を順守しなければなりません。これには、詐欺、横領、恐喝、窃盗、着服、あるいは、故意にお客様または第三者の資産に損害を与える行為に私たちが一切関与しないということも意味します。

行動規範に従わない場合、当社のみならず、私たち従業員自身、私たちのビジネスパートナー、その他の利害関係者に重大な損害を及ぼす恐れがあります。行動規範はこのため、一般職、管理職、取締役などの役割にかかわらず、私たちすべてに適用されます。行動規範への違反は決して許されません。行動規範に違反する者はすべて、違反の深刻度により、労働法に基づく措置から民事上の損害賠償請求まで、または刑事罰に問われる結果を認識しなければなりません。

このような事態を招かないためには、私たち一人一人が行動規範の内容をよく理解した上で、私たち自身の振る舞いに行動規範を取り込み、行動規範を念頭に意思決定を行えるかどうかにかかっています。疑わしい場合は、適切なアドバイスを求める必要があります。

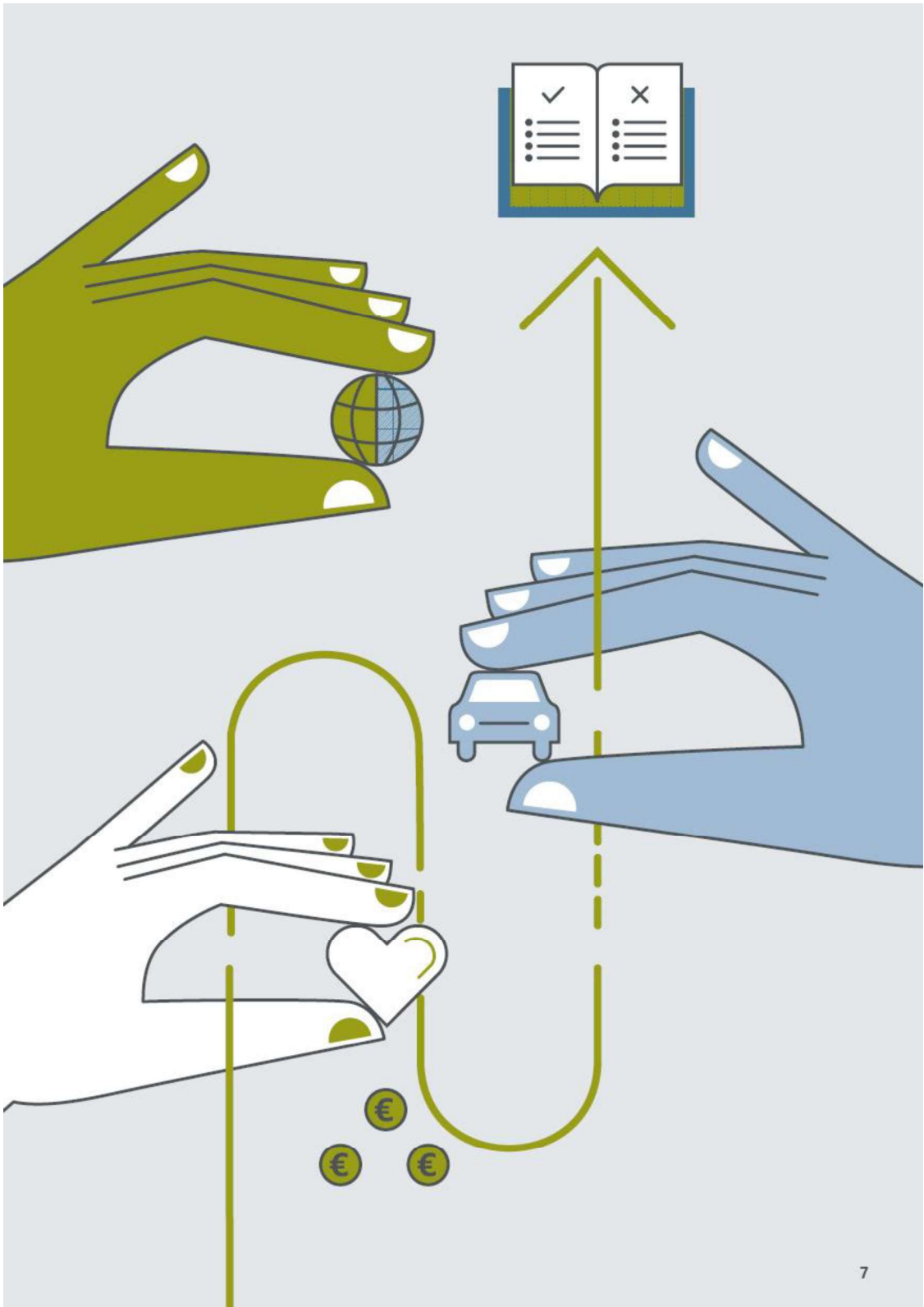
3

社会の一員としての私たちの責任

私たちの社会的責任とは、もちろん、法律を順守することです。私たちは、業務上のすべての意思決定を行う際、事業のよりどころとなる法律を順守する義務を負っています。

ポルシェホールディンググループのすべての従業員は、自らの社会的責任、具体的には、人々や環境の健全性に配慮し、当社が持続的な発展に貢献することを確保しなければなりません。

社会の一員としてのフォルクスワーゲングループの責任を果たすために必要な会社の原則を以下にご紹介します。





人権

背景

国連で採択された「世界人権宣言」、ならびに「人権と基本的自由の保護に関する欧州条約」には、国際社会で人権を順守し尊重するために必要とされることおよび期待されることが述べられています。

会社の原則

当社は、基本的かつ一般的な要件として、人権および子どもの権利(以下「人権」といいます)を保護するために施行されているすべての規則を全世界で尊重、保護、推進します。当社はまた、児童労働および強制労働の利用、ならびにあらゆる形態の現代の奴隷制や人身売買をすべて拒絶します。この原則は当然、社内における協力のみならず、ビジネスパートナー自体の行動およびビジネスパートナーへの働きかけにも適用されます。

私たちにできること

私は、従業員として、人権の尊重に貢献することができます。私は、人権を基本的なガイドラインだと思っており、自分の周りで起きる人権侵害を警戒しています。

仕事関係で人権侵害の懸念がある場合、私はそれを防止するか、止めさせます。また、必要に応じて、上司に報告するか、第6章に記載されている連絡先に連絡します。

事例



あなたは特定の物品の購入における責任者です。取引しているサプライヤーが、製造工程で児童を働かせている、あるいは非人道的な条件(例:健康上のリスクが高い環境)で従業員を働かせているという情報を得ました。

このような場合、必要な措置を講じ、上司または第6章に記載されている連絡先に連絡してください。会社はこのビジネスパートナーとの取引についてより詳細に調査し、必要に応じてこれら契約を打ち切ります。

機会均等と待遇の均等

背景

機会均等と待遇の均等は、公平で偏見のない、オープンな取り組みの重要な基盤です。ポルシェホールディングは、パートナーシップ、多様性、寛容の精神に基づく相互を尊重した協力を奨励します。このようにして当社は、最大限の生産性、競争力、革新的能力、創造力および効率性を獲得できています。

会社の原則

当社はすべての人に均等な機会を提供します。

当社は、民族、国籍、性別、宗教、信念、年齢、障害、性的指向、肌の色、政治観、社会的背景、その他の法律で保護されている特徴に基づいて差別したり、差別を許容したりしません。当社は会社の利益のために、多様性を受け入れるとともに積極的に奨励し、各従業員の個性を育む環境を作ります。

当社の従業員は、原則として、各々の資格およびスキルに基づいて選抜され、雇用されるとともに、支援を受けます。

私たちにできること

私は機会均等と待遇の均等の原則を順守するとともに、私の周りの人々にも同じようにすることを勧めています。

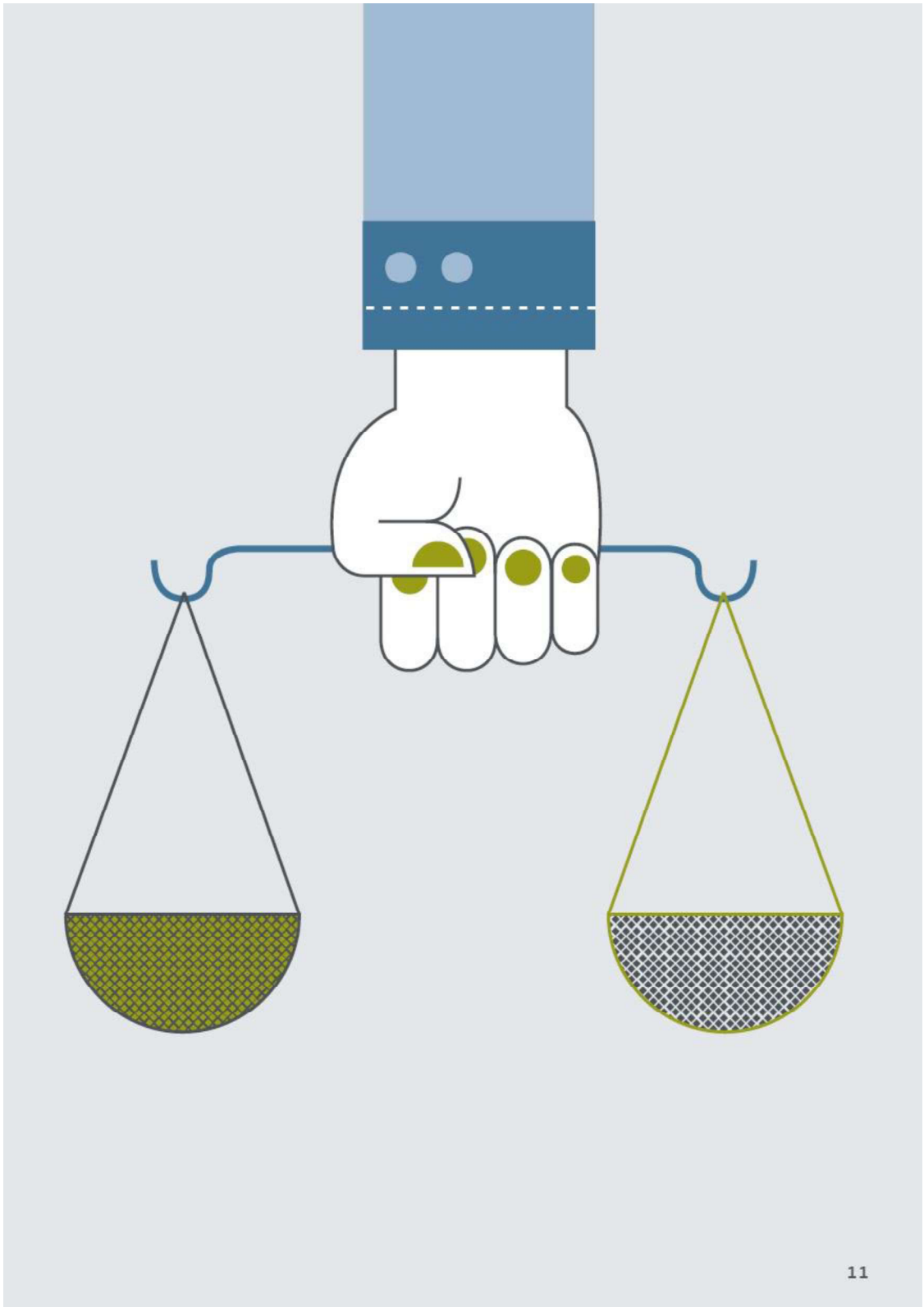
機会均等と待遇の均等の原則への違反（不利益、ハラスメント、モラルハラスメント）を発見した場合、私は関係者に対しその誤りを指摘します。私とその状態に対して直接影響を及ぼす立場にない場合、当該インシデントについて人事部門に報告するか、または第6章に記載されている連絡先に連絡します。

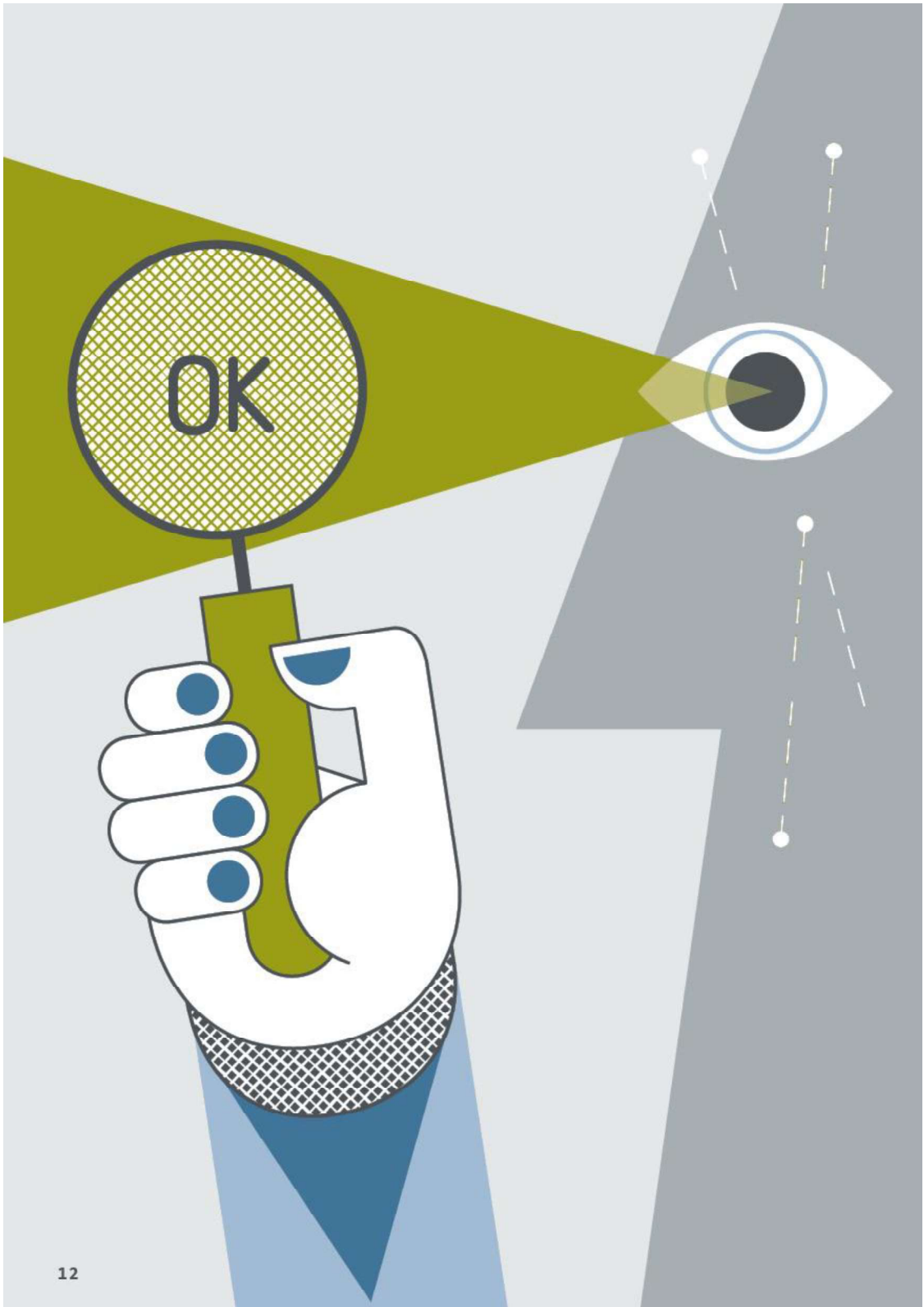
事例



あなたは、友人関係にある同僚から、その同僚の部門への応募者が、募集した仕事に最適な候補者だったにもかかわらず、肌の色のせいで入社を拒否されたことを知りました。

この場合、適切な措置が取られるように、関連する人事部門に報告し、状況を明らかにすることに協力してください。





製品の適合性および安全性

背景

当社の製品やサービスを日常的に利用する人の数は数え切れません。ポルシェホールディングは、お客様およびあらゆる第三者の健康、安全、環境、資産に対する、製品やサービスの取り扱いや使用に起因するあらゆるリスク、悪影響、危険性を可能な限り防止する責任を負っています。

会社の原則

そのため、当社製品に適用される法規制、社内標準を順守することは、当社の法的な義務のみならず、使命でもあります。当社の製品は最先端でありながらも、法的要件に基づいて開発されています。この法的要件への適合性は、工程面および構造面の隅々で、さらに、実使用条件での監視を通じて、継続的かつ体系的にモニターされます。当社がこれについて妥協することはありません。また、何らかの不具合が生じた場合、適切な措置が適時に講じられることを保証します。

私たちにできること

当社の製品が脅威となることまたは規則が順守されていないことに気付いた場合または懸念される場合、私は適切に対応します。すなわち、私は、そのことを上司およびユニットの製品安全責任者など社内の関係連絡先に報告します。

事例



あるお客様が車の技術的な問題をあなたに報告しています。あなた、はその問題が製品操作時のお客様のミスによるものかどうか判断できず、製造時または組み立て時の欠陥である可能性も明確に排除することもできません。

このような場合、問題を明確化しなければなりません。当社に責任のある問題を確実に解決することは、私たちにあって不可欠です。また、たとえお客様の製品操作時のミスである場合でも、会社が対応しなければならないこともあります(例:操作マニュアルやユーザートレーニングの見直しなど)。

環境保護

背景

フォルクスワーゲングループおよびポルシェホールディングは、自動車を開発、生産、販売し、サービスとモビリティソリューションを世界中に提供しています。当社の使命は、持続可能な個々のモビリティのグローバルプロバイダーになることです。このミッションを追求するにあたり、当社は環境に対する特別な責任に注意を払っています。

会社の原則

当社は、営利企業として、当社の製品、事業拠点、サービスの環境適合性および持続可能性に対して責任を負っています。当社は、環境にやさしく、先進的かつ効率的な技術に重点的に取り組み、当社製品のライフサイクル全体に適用しています。当社では、開発および生産の初期段階から、環境への影響を注意深く着実に削減するために天然資源を確実に管理し、環境保護法規制を順守しています。

さらに当社は、製品や製造工程の環境適合性を絶えず見直し、必要に応じて最適化しています。

当社は、責任ある社会の一員であるとともに、政策推進のパートナー的存在です。当社は、将来のモビリティコンセプトや環境的に持続可能な開発の実現について、これらの関係者との対話を進めています。

私たちにできること

私は、環境保護を念頭に業務を行い、資源やエネルギーを経済的かつ効率的に使用しています。私はまた、自分の活動が環境に及ぼす影響が最小になり、適用される環境保護法規制に準拠するよう注意しています。

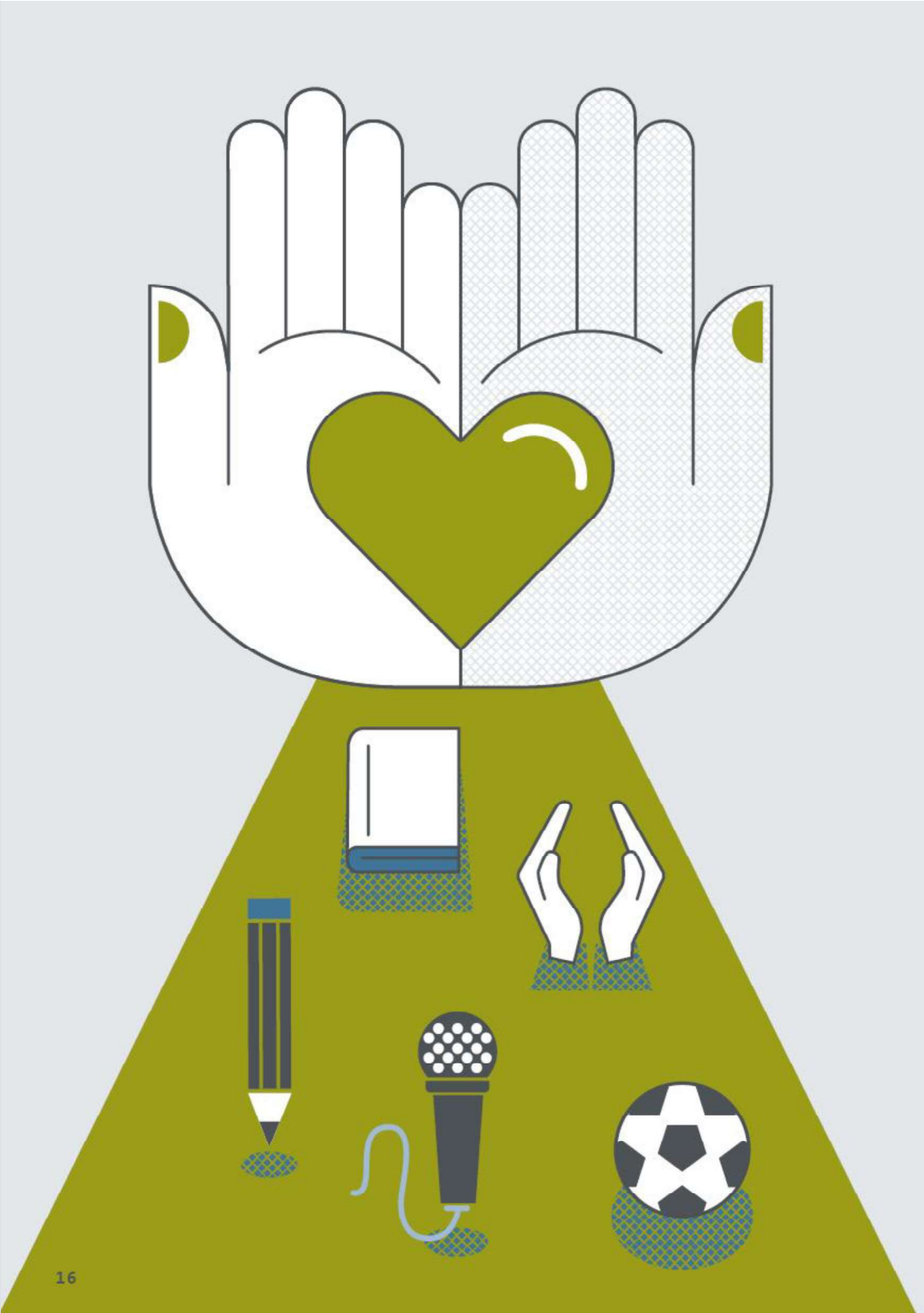
事例



あなたは、タンクに漏れがあり、かなりの量の化学物質が地中に漏出していることに気がきました。

このような場合、直ちに担当従業員の誰かに知らせ、問題に注意を向けさせてください。漏出の報告を人任せにしないようにしてください。





寄付、資金援助、義援金

背景

ポルシェホールディングは、当社の評判および社会認識にプラスの効果をもたらすために、寄付（見返りの報酬を期待しない自主的な貢献）、および資金援助（契約で合意した報酬に基づく貢献）を行います。利害の対立を避け、社内の標準行動を確実にするため、寄付や資金援助は、関連する法的枠組にのっくとともに、ポルシェホールディングに適用される社内ルールに基づいている場合にのみ許容されます。

会社の原則

当社は、科学研究、教育、慈善運動、スポーツ、文化、教会および協会施設を支援するために、金銭および物品による寄付を行います。当社はまた、広く認められた非営利団体または特別な法令で寄付の受け取りが認められている組織に対してのみ寄付を行います。

寄付および資金援助は、透明な承認プロセスに従っている場合にのみ許容されます。

私たちにできること

支援する価値がある特定の資金援助を私が検討している場合、私はまず、社内の適切な部門（例：広報、渉外、マーケティングなど）に相談します。

寄付の授与に関する内容は透明性が確保されなければなりません。寄付の目的、受取者、受取者からの領収証などは書面で残し、検証可能であることが必要です。私は、社内プロセスに準拠するとともに、会社の評判を傷つけるような寄付は行いません。

事例



ある地元の政治家が、ポルシェホールディングで地位を得ている従業員であるあなたに、選挙運動のために会社からの現金による寄付を依頼しています。

このような場合、依頼を断ってください。寄付は、必要な承認プロセスを経た後でなければ行えません。なお、この事例の場合、政党、政党関連機関、政治家への寄付は社内ガイドラインで禁止されているため、寄付を承認することはできません。

情報提供とマーケティング

背景

ボルシェホールディングは、従業員、ビジネスパートナー、株主、投資家、メディア、その他のステークホルダー(利害関係者)に対して、誠実かつ合法的な手段で、わかりやすくオープンに情報提供することが重要であると確信しています。当社のすべての従業員は、統合され一貫性のあるグループのイメージを示すために、社内コミュニケーションルールを順守する責任を負っています。また、当社のすべての従業員は、かかわりを持った社員の成果を認めるとともに、その専門性や個人的な評判を尊重します。


会社の原則

当社は、お客様、投資家、その他のステークホルダー(利害関係者)の信頼を維持するため、当社の情報提供の明確性および一貫性を保証します。計画された情報提供やマーケティング方策を約束したり実施したりする前に、まず、関連部門と調整しなければなりません。

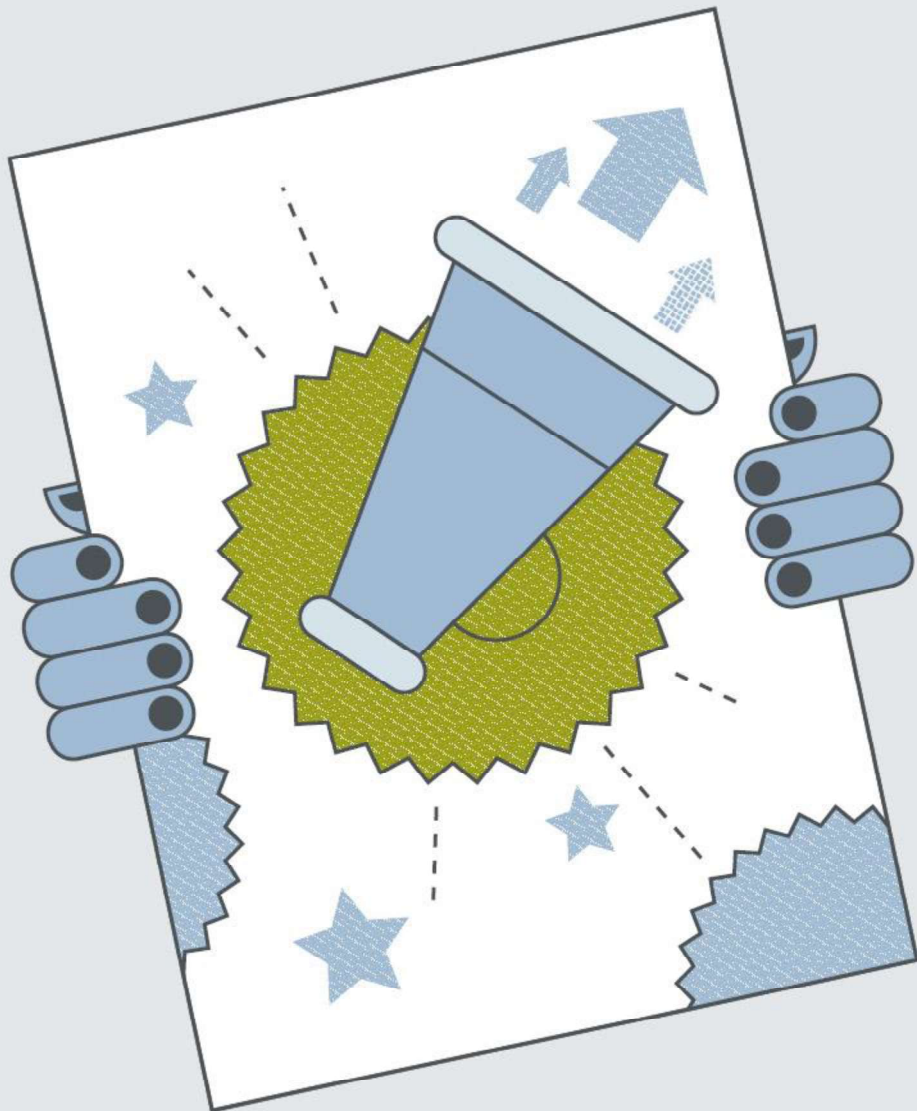
私たちにできること

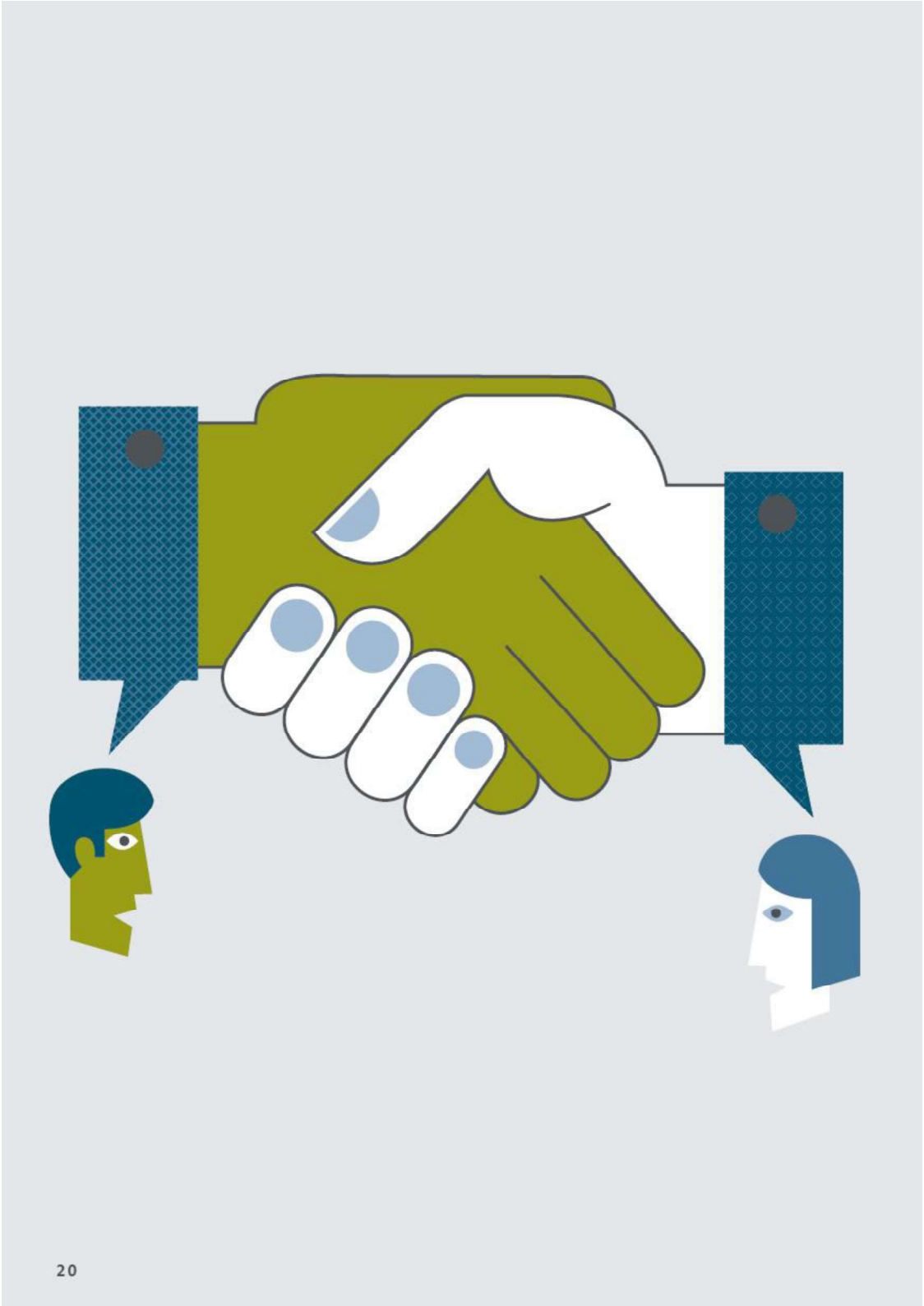
私は、自分から会社の公式声明を発表することはなく、依頼があった場合には必ず広報部門に確認します。公共イベント、商業イベント、文化イベントまたはインターネットでコメントする場合、私は、個人的な意見を述べていることを明確にしています。また、SNSの適切な利用方法については、会社のソーシャルメディアガイドラインを確認しています。

事例

 あなたは、インターネットのコメントで、誰かがアジアでの生産方法について批判しているのを読みました。しかし、それは全く事実無根の内容でした。

このような場合、虚偽のコメントを直ちに訂正したいと思うかもしれませんが、まず関係部門に連絡してください。なぜなら、この部門は、このような批判に適切かつ包括的に対応する役割を持っているためです。





政治ロビー活動

背景

政治および立法行為は、ビジネスプロセスの経済的枠組みに影響を及ぼします。フォルクスワーゲングループの商業取引への参画は、社会に影響力を持つことも意味します。そして、政治ロビー活動を通じた法律の企画など、意思決定プロセスにおいて具体的に利益を促進することもあります。

会社の原則

当社は、一元的に、かつ公開、説明責任、責任の原則に沿って政治ロビー活動を行います。言うまでもなく、当社と政党や利益団体とのやり取りは、中立の原則に基づきます。政策立案者や政府に不正に影響を及ぼすことは禁止されています。

私たちにできること

私は、認められている場合を除き、会社に代わって政治的決定への介入を試みることはありません。それが認められている場合でも、自分の職務を履行するにあたり、関連する社内ガイドラインを順守します。

事例



あなたの知り合いに、国会議員がいます。あなたは、フォルクスワーゲングループにとって重要な法案が現在国会で審議されていることを知りました。そこで、あなたの知り合いの議員に連絡し、その法案に関係するグループの利害を説明しようと考えています。

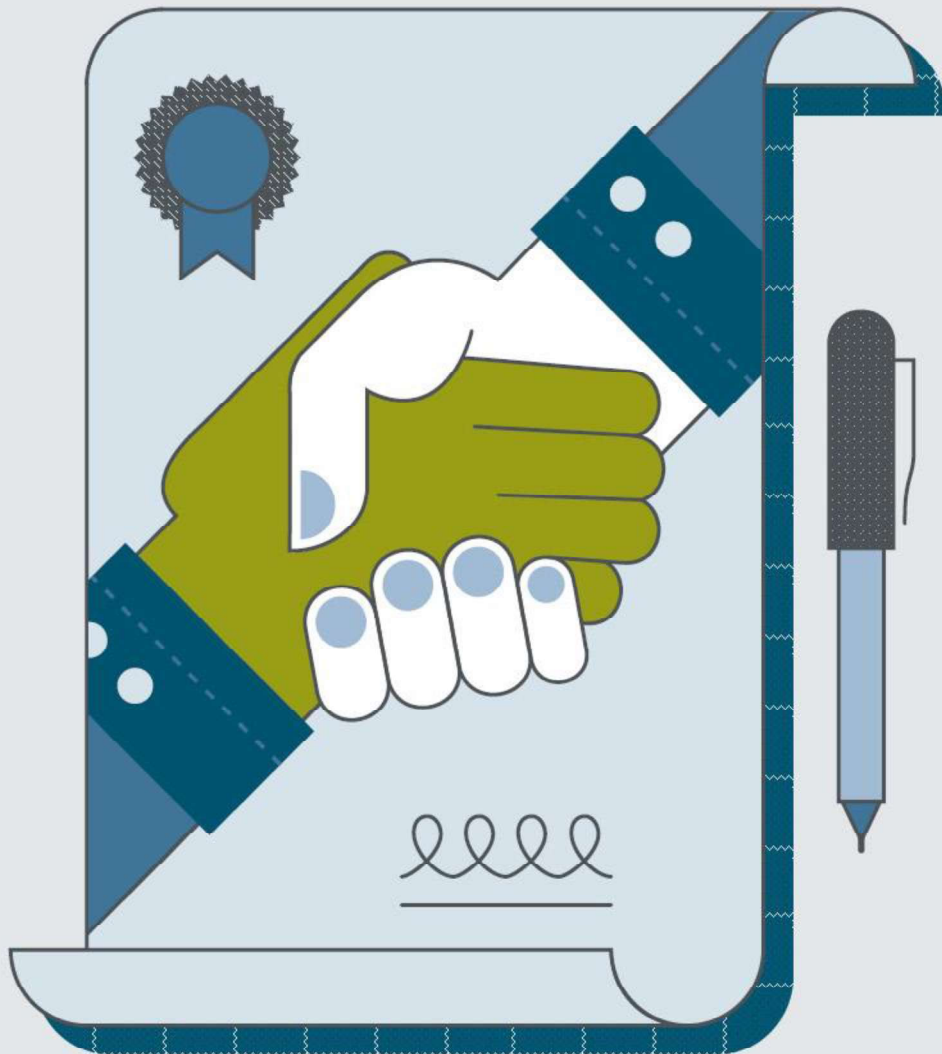
このような場合、その問題についてあなたの知り合いに働きかけを行ってはなりません。当社の政治ロビー活動は、専門の部門で一元的に調整され、公開かつ透明性を確保して実施されます。上司に報告するか、第6章に記載されている連絡先のいずれかに連絡します。

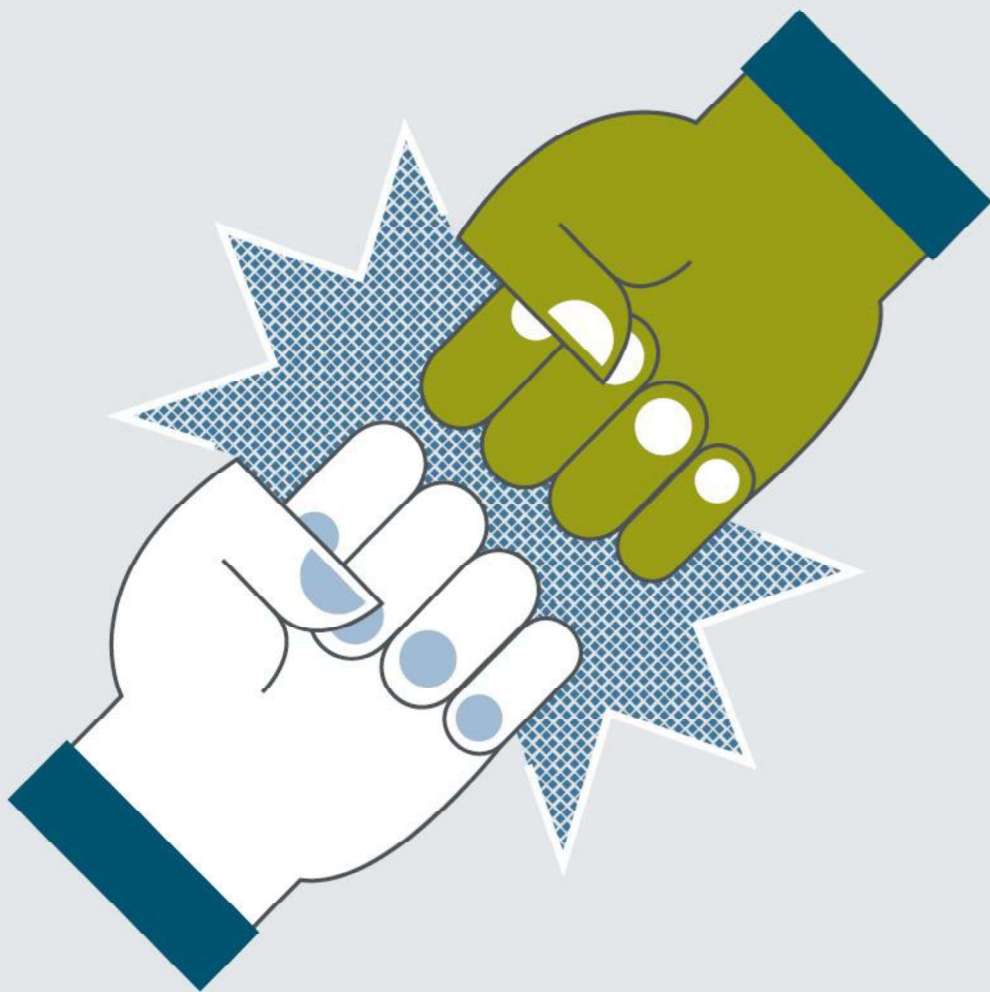
4 ビジネスパートナーとしての 私たちの責任

インテグリティ(高潔性)、透明性、公正性は、事業で信用および信頼を獲得するために必要な鍵です。

このため、ポルシェホールディングは、法的枠組、グループ内ガイドライン、企業価値を体系的に設定し、わかりやすく周知することを重視しています。これには、当社の製品およびサービスを正規販売パートナーを通じてのみ提供することも含みます。

ビジネスパートナーとしてのポルシェホールディングの責任を果たすために必要な会社の原則を、以下にご紹介します。





利益相反

背景

ある従業員の個人的な利益がポルシェホールディングの利益と衝突している、あるいは衝突する可能性がある場合、利益相反が生じる可能性があります。このような利益相反は、特に副業の結果として発生することがあります。従業員が自らの個人的な利益を会社の利益より優先した場合、会社に損害を与える可能性があります。

会社の原則

当社は、従業員の個人的な利益および私生活を尊重します。しかしながら、個人の利益とビジネスの利益の相反、また見かけ上の利益相反を避けることも重要です。当社のすべての決定は、客観的な基準に基づいてのみ行われなければならない、個人的な利益や関係で左右されることがあってはなりません。

私たちにできること

私は、見かけ上の利益相反を避けるとともに、明白なまたは実際の利益相反がある場合には、自分の上司および人事部門に報告します。私たちは協力して、会社の利益を害することがない解決策を探します。

事例



あなたの上司が、複数のプラスチック部品のサプライヤーからの入札書類を確認するよう、あなたに依頼しています。あなたは、最も好条件の入札が、あなたの親友の会社のものであることを知りました。

このような場合、見かけ上の利益相反を避けるために、上司に状況を説明し、意思決定プロセスを辞退しなければなりません。

贈り物、接待、招待

背景

贈り物、接待、招待などの形式での利益の提供は、ビジネス関係でよく見られます。このような利益提供は、合理的な範囲内で、社内ルールや法規制に違反しない限り、問題ではあません。しかしながら、そのような利益が合理的な範囲を超えたり、第三者に影響を及ぼすために悪用されたりした場合、関係者が訴追されることがあります。

会社の原則

贈り物、接待、招待の取り扱いに関する当社の社内ガイドラインには、どのような利益が適切かということや、利益を授受する場合に必要なステップが記載されています。

私たちにできること

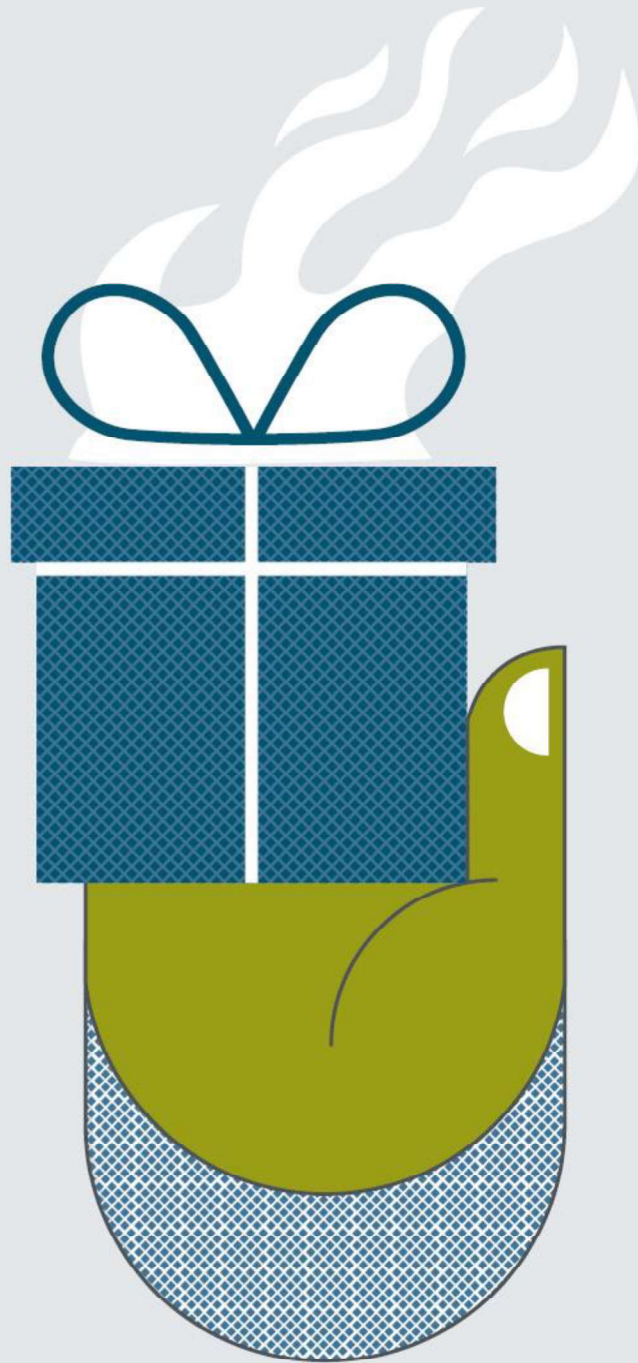
私は、贈り物、接待、招待の取り扱いに関するガイドラインを理解し厳守します。この件について、利益相反が生じていないか、または生ずる恐れがないかを確認するために、自分の行動をチェックしています。

事例



ホルシェホールディングのサプライヤーの従業員が、あなたに高価な誕生日プレゼントを贈ろうとしています。

たとえあなたが、この贈り物を受け取ることにより、ビジネス関係に影響をあたえることはないと考えていたとしても、贈り物の価値は、贈り物についての社内ガイドラインに定める価値を超えてはなりません。なお、疑わしい場合は、贈り物を受け取ってははいけません。贈り物を断ることで相手に誤解を与えることが懸念される場合、上司に相談して対応方法を決めてください。疑わしい場合は、社内の適切な部門に贈り物を引き渡してください。贈り物を引き渡した事は、個人情報保護のために記録されます。





汚職の禁止

背景

汚職は、商取引において深刻な問題です。汚職により、不適切な根拠に基づく決定がなされ、発展やイノベーションを阻害されるとともに、競争がゆがめられ、社会的損害をもたらされます。汚職は禁止されています。これに従わないと、ボルシェホールディングに罰金が科せられたり、関係する従業員が刑法により処罰されたりする可能性があります。

会社の原則

当社の製品やサービスの品質は、当社の成功にとって重要な要素です。そのため、当社は汚職を許しません。当社は、許容される法的枠組の範囲内で、かつ既存のルールにのっとることによってのみ、ビジネスパートナー、お客様、その他の社外の第三者に利益を提供します。

私たちにできること

私は、直接的または間接的にでも他者にわいろを渡したり、他者からわいろを受取ったりすることはありません。また私は、贈り物、招待、接待を受けたり提供したりするにあたり、社内ルールを確認する責任を負っています。

さらに、汚職にかかわる内部情報を得た場合、第6章に記載されている連絡先に直ちに連絡します。

事例



あなたは、ボルシェホールディングの会社で販売を担当しており、今年の売り上げ目標をクリアしたいと考えています。あなたは、ある潜在顧客からの入札案内に基づく大規模な契約向けに、入札資料を準備しています。お客様側の関連意思決定者が、契約の落札者を決定するにあたり、適切な対価の見返りにあなたの会社に有利となるように影響を及ぼすことを申し出ています。

これは汚職行為です。このような場合、上司および適切なコンプライアンスオフィサーに直ちに報告してください。

公務員および公職者との取り引き

背景

公務員や公職者、政府、官庁、その他の公的機関との取り引きでは、しばしば特別な法的規則が適用されます。これらに違反した場合、重大な結果をもたらされるばかりか、ボルシェホールディングが公的契約の発注先から永久に除外される可能性があります。

会社の原則

公務員や公職者向けの当社窓口は、すべての法律および規則、ならびに利益相反および不正行為の回避に関する関係社内ルールを厳守します。当社は決して、便宜を図ってもらうために金銭を支払うことはしません。このような支払いとは、所定の管理業務を早く進めてもらうために公務員に支払う金銭のことを指します。

私たちにできること

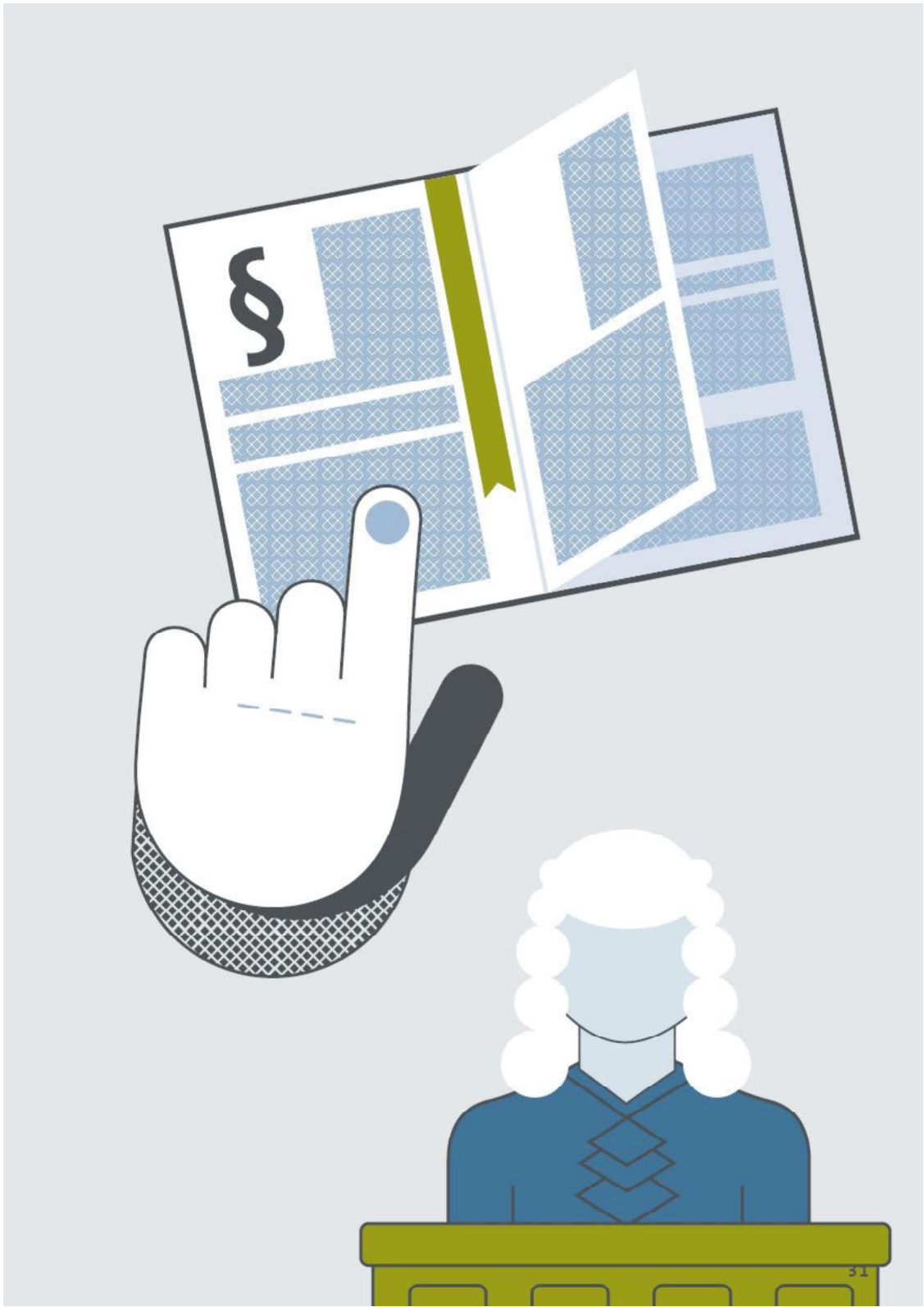
私は、公的契約に特に厳しいルールが適用されることを認識しており、このようなルールをよく理解しています。問題が発生した場合の連絡先は上司または第6章に記載されている連絡先です。

事例



あなたは、ある官庁で大規模な契約の入札が計画されていることを知りました。あなたは、以前のプロジェクトで知り合いになったその官庁の入札担当職員に、ボルシェホールディングが落札できるように入札案内を作成するよう依頼することを検討しています。

どのような状況であっても、このような行動を取ってはいけません。このような影響力を行使することは違法です。





マネーロンダリングおよび テロ資金供与の禁止

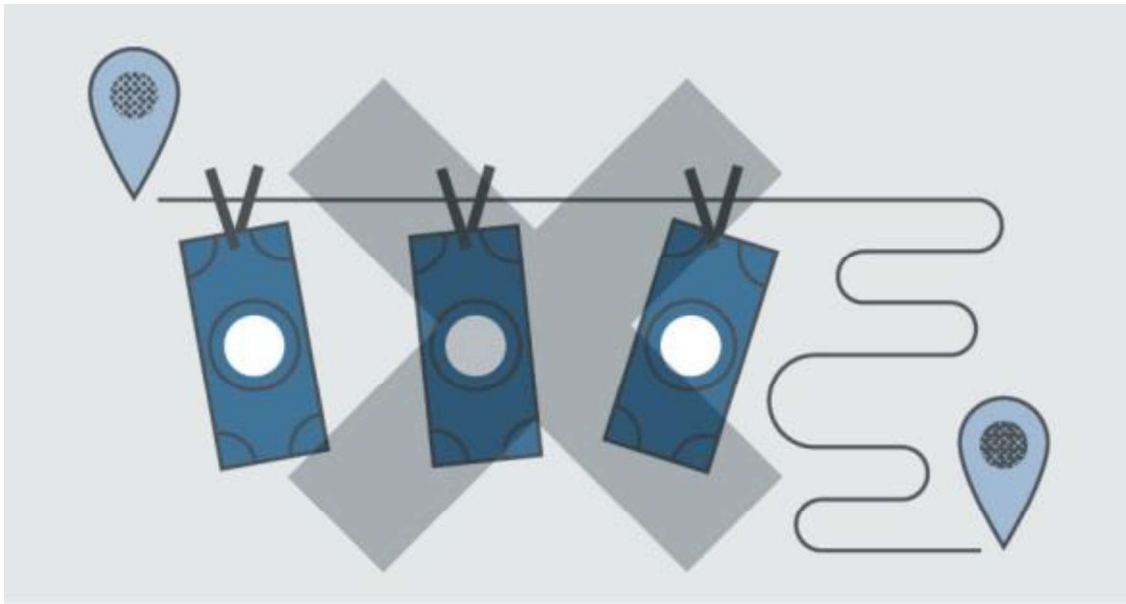
背景

マネーロンダリングやテロ資金供与を禁止する法律は、世界中のほぼすべての国で施行されています。マネーロンダリングとは、犯罪行為に直接的または間接的に由来する資金やその他の資産を合法的な経済の循環に投入し、合法的なものに見せかけることを指します。テロ資金供与とは、金銭またはその他の資源を、テロ行為を実行するため、またはテロリスト組織を支援するために利用可能な状態にすることを指します。マネーロンダリングの責任は、関係する法的取引や送金を通じて金銭がマネーロンダリングされていることを関係者が認識していることを必要としません。不注意でマネーロンダリングに加担したとしても、既に関係者全員に重大な罰則を課す十分な根拠になっている可能性があります。

会社の原則

当社は、当社が取引を望むお客様、ビジネスパートナー、その他の第三者の身元を慎重に確認します。法規定に従って事業を行い、合法的仕入先からの資源を使用する信用のあるパートナーとのみ取引を行うことが、当社が掲げる目標です。

当社は、受取った支払を遅滞なく対応するサービスに割り当て、適切に帳簿に記入します。透明かつオープンなキャッシュフローを確保します。



私たちにできること

私は、国内外のマネーロンダリング規制に違反するようないかなる行動も取りません。私は、お客様、ビジネスパートナー、その他の第三者側の疑わしい行動に警戒し、調査を行います。また、疑いを示す十分な理由がある場合、マネーロンダリングオフィサーまたは第6章に記載されている連絡先に直ちに連絡します。

私は、会計システム上の自分の責任範囲内で、取引および契約の記録、帳簿への記入を規定するすべての適用条項に従います。

事例



あるアジア在住のポルシェホールディングのお客様が、過度に支払いをし、その後、超過額をスイスにある口座に払い戻すか、元の口座への銀行振り込みではなく、現金で払い戻すよう依頼しています。

このような場合、簡単に依頼に応じてはいけません。このような依頼には説明が必要です。なぜ超過額を元の方法で払い戻してはいけないのかをお客様にたずねてください。さらに、第6章に記載されている連絡先に助言を求めてください。

会計および財務報告

背景

フォルクスワーゲングループおよびボルシェホールディングは、適切な会計処理および正しい財務報告を通じてのみ、一般市民、株主、契約相手からの信頼を構築し、維持することができます。いかなる不正でも、会社や責任者に重大な結果をもたらす可能性があります。

会社の原則

当社は、適切な会計および財務報告に関する法規を厳守します。透明性および正確性が当社の最優先事項です。この目的のため、当社はすべての資本市場関係者向けに、当社の財務状態および事業開発について、定期的に情報提供を行っています。さらに当社は、国内外の会計基準に基づき、定期財務報告書を期限通りに発行します。

私たちにできること

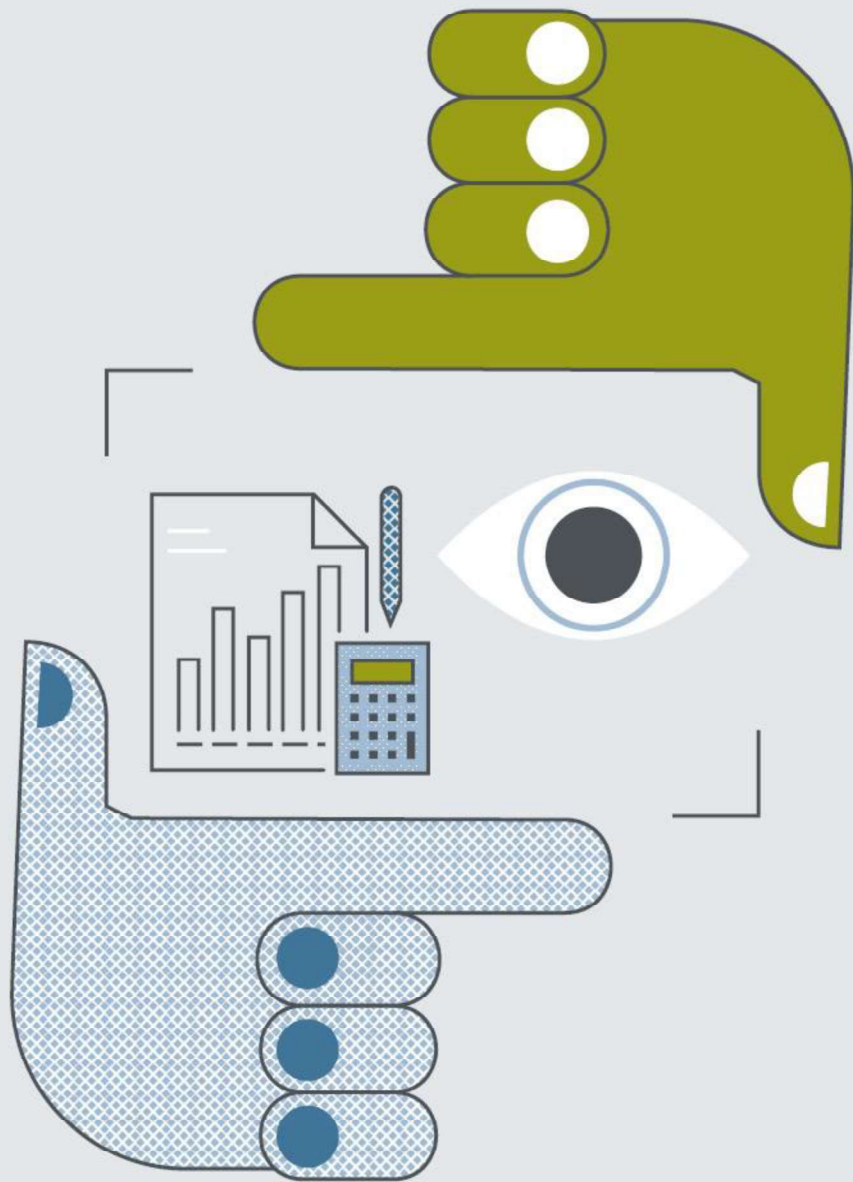
私は、すべての事業財務データが会計システムに正確かつ迅速に入力されるようプロセスを整備します。データの正しい記録について質問がある場合には、上司または適切な財務部門に連絡します。

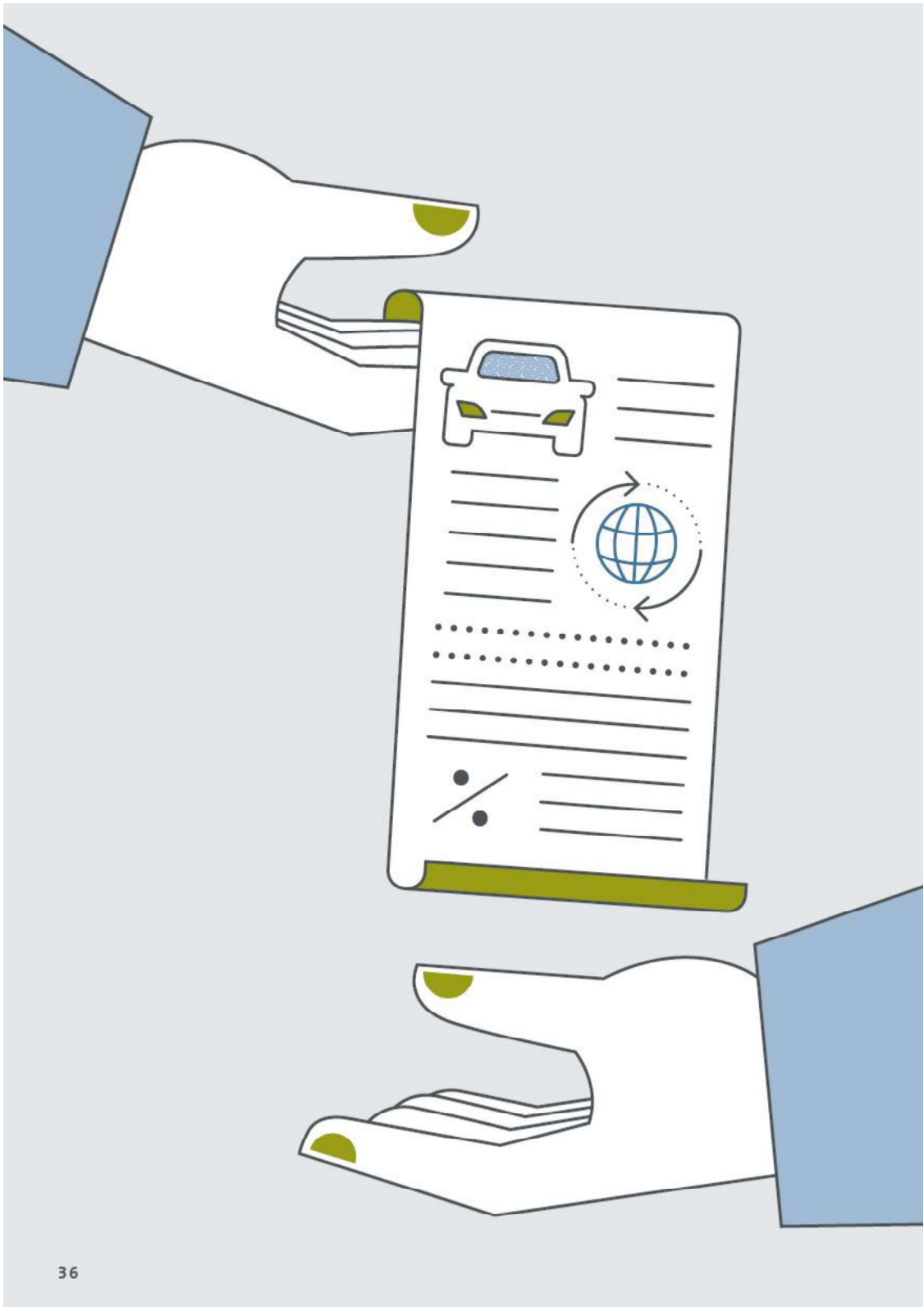
事例



あなたは、新しい機器を緊急で必要としています。しかし、あなたの部門は今年度予算を既に使い果たしています。それにもかかわらず、あなたは機器をすぐに調達し、費用は予算が補充される来年度の帳簿に転記することを検討しています。

このような行動は取らないで下さい。帳簿への記入は常に正確でなければなりません。不正確な帳簿への記入は、会社または従業員個人に重大な結果をもたらす可能性があります。





税および関税

背景

当社がグローバルにビジネスを展開し、新規市場を開発するということは、外国貿易、税、関税に関係する数多くの異なる規則に準拠しなければならないということを意味します。

税および関税に関する規則を順守することで、お客様、財務当局、一般大衆からの信頼を得ることができます。いかなる不正でも、ポルシェホールディングに重大な財務的損害を及ぼす可能性があるとともに、グループの評判への重大な影響や、担当従業員への悪影響がもたらされる可能性があります。

会社の原則

当社は、税および関税に関する当社の義務を果たすという社会的責任を認識しており、国内外法規へのコンプライアンスを明確に支持します。

私たちにできること

私は、各グループ会社が納付すべき税および関税が正しく、迅速かつ完全に計算されるとともに、報告書に開示され、適切な財政当局に納付されることを確保する、内部構造およびプロセスを設計します。

私の責任の範囲内で、税および関税に関する規則への違反を示す情報を得た場合、私は、そのような違反を防止または改善するために、あらゆる措置を講じます。それが不可能な場合、適切な担当者(例: 税務部門)に連絡します。

事例



あなたは、一般間接費(保守費)や製造コストなどの特定の企業取引を法定の財務諸表に入力する業務を担当しています。あるプロジェクトが会計年度の初期段階で、一定のコントローリング・パラメータをいくつか超過しています。そのため、あなたは、取り引きが間違いなく投資に関連しており、資産化される生産コストとして取り扱われるべき入力を、保守費として計上するよう指示されました。

法的要件に従って帳簿に記入してください。すべての企業取引は、商法および税規則に従って正確に報告されなければなりません。なぜなら、このような会計記録が課税申告の基盤となるからです。会計上の誤謬は、間違った課税申告の原因となり、会社および担当従業員にとって、税および関税関連法上、重大な結果に至る可能性があります。

公正かつ自由な競争

背景

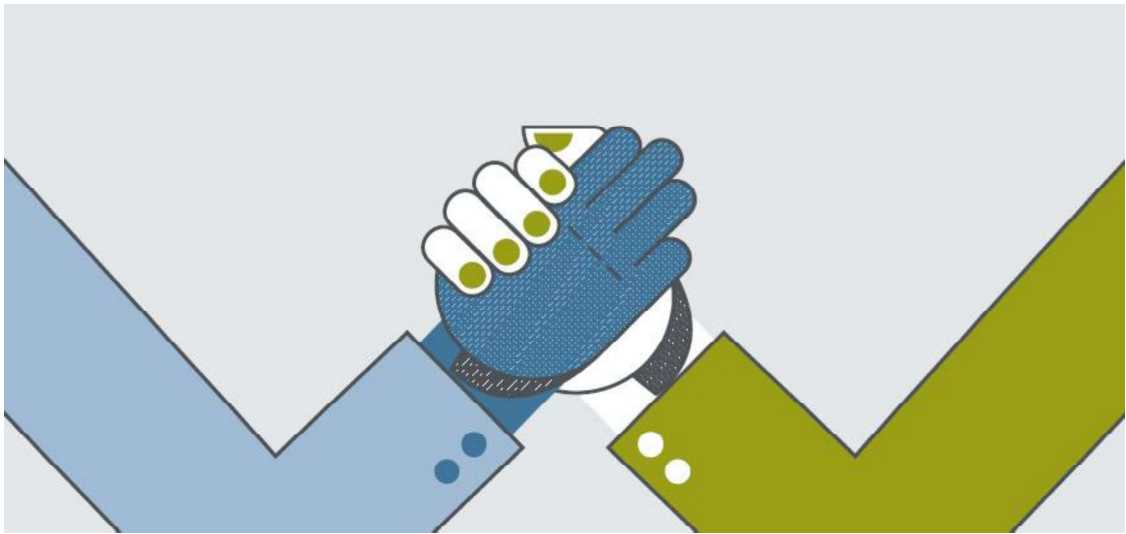
公正かつ自由な競争は、適用される競争および反トラスト関連法規で保護されます。この法規を順守することで、健全な市場競争が確保され、すべての市場関係者にとっての利益になります。具体的には、自由競争を制限することを意図した競争者間の合意および協調行為は禁止されています。支配的市場地位の乱用も認められません。このような乱用は、例えば、客観的な理由なく顧客を異なった方法で取り扱うこと(差別)、供給の拒否、不合理な購入/売値や条件の強要、要求した追加サービスに対する不当な抱き合わせ販売といった形態を取ります。反競争的行為は、ポルシェホールディングの評判を著しく傷つけるのみならず、高額の罰金や厳しい罰則の対象となる可能性があります。

会社の原則

当社は、メリットおよび市場経済の原理、ならびに自由かつ制約のない競争に基づいて事業活動を行います。当社は、常にルールや規則に従い、倫理原則を順守しながら、競合他社と比較されることを希望します。

当社は、競合他社、サプライヤー、お客様と反競争的な合意をすることはありません。また、会社が支配的市場地位を保持している場合、その地位を乱用することはありません。

当社は、正規販売パートナーとの取り引きにおいて販売システムにかかわる反トラスト関連法規を順守します。



私たちにできること

私が競合他社と接触する場合、情報提供者側の現在のまたは将来の事業活動を導き出すことができるような情報を、一切開示または受領しないことを保証します。

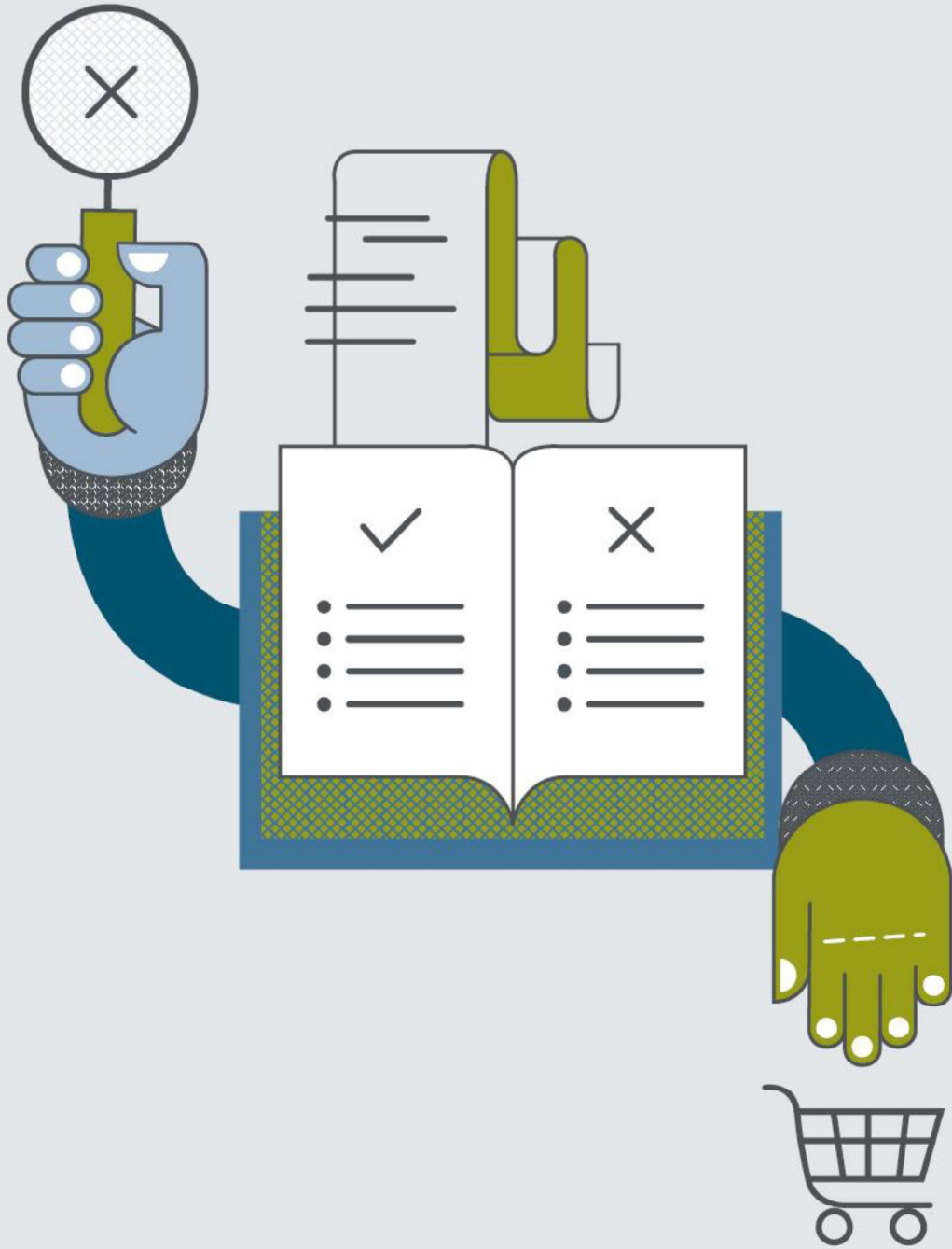
さらに、競争において重要な問題について、競合他社と会話したり、その他の連絡を取ったりすることを回避します。この重要な問題には、価格、事業計画、開発ステータス、納入時期などが含まれます。

事例



あなたは、ある展示会で競合他社の従業員と話しています。しばらくして、あなたはボルシェホールディングの将来の事業計画に関する情報を探られていることに気が付きます。その見返りに、競合他社の従業員は、自分の会社の同様の情報を教えることを申し出ます。

このような場合、直ちに、あなたがそのような問題については話さないことを、競合他社の従業員に明確にさせてください。企業秘密の不正開示とは別としても、このような種類の会話も一般的な競争および反トラスト関連法規への違反であり、あなた個人、ボルシェホールディング、競合他社およびその従業員に対して、重大な結果がもたらされる可能性があります。会話を文書化し、直ちに適切なコンプライアンスオフィサーに知らせてください。



調達

背景

ボルシェホールディングは、その事業活動において、数多くのサプライヤーやサービスプロバイダーと契約関係を持っています。

会社の原則

当社は、客観的な基準に基づいて、サプライヤーやサービスプロバイダーを注意深く選定します。

当社は、製品やサービスを購入する場合、適用される購買ガイドラインの定めに従い、購買部門を関与させます。

私たちにできること

私は、客観的理由なく特定のサプライヤーやサービスプロバイダーを優遇するような偏見や、利益相反を回避します。

また私は、市場および代替サプライヤーを最初に確認することなく、製品やサービスを購入することはありません。さらに、関連する購買の原則に従うとともに、購買プロセスの初期段階から適切な購買部門を関与させます。

事例



あなたは、ボルシェホールディングの従業員が、適切な購買部門を関与させることなく、サプライヤーに発注しようとしていることに気がきました。

このような場合、第6章に記載されている連絡先または適切な購買部門に直ちに通知し、当社にとって最もコスト効率の高い入札者が機会を得られるようにしてください。

輸出規制

背景

輸出規制により、国境を越えた物品の取り引きの禁止や制限、または当局からの承認やその他の監視措置を必要とする場合があります。輸出規制に関する法規条項は、技術およびソフトウェアに加えて、物品にも適用されます。

輸出規制は、本来の輸出とは別に、一時的な越境を伴う移動、例えば、物品や技術図面を出張に携帯する場合や、Eメールやクラウドを介して技術的な送信を行う場合にも適用されます。

さらに、制裁リストに記載されている個人または企業を相手にした取り引きは、納入プロセスにかかわらず、厳しく禁止されています。

会社の原則

当社は、物品、サービス、および情報の輸出入に関するすべての規定を順守します。

私たちにできること

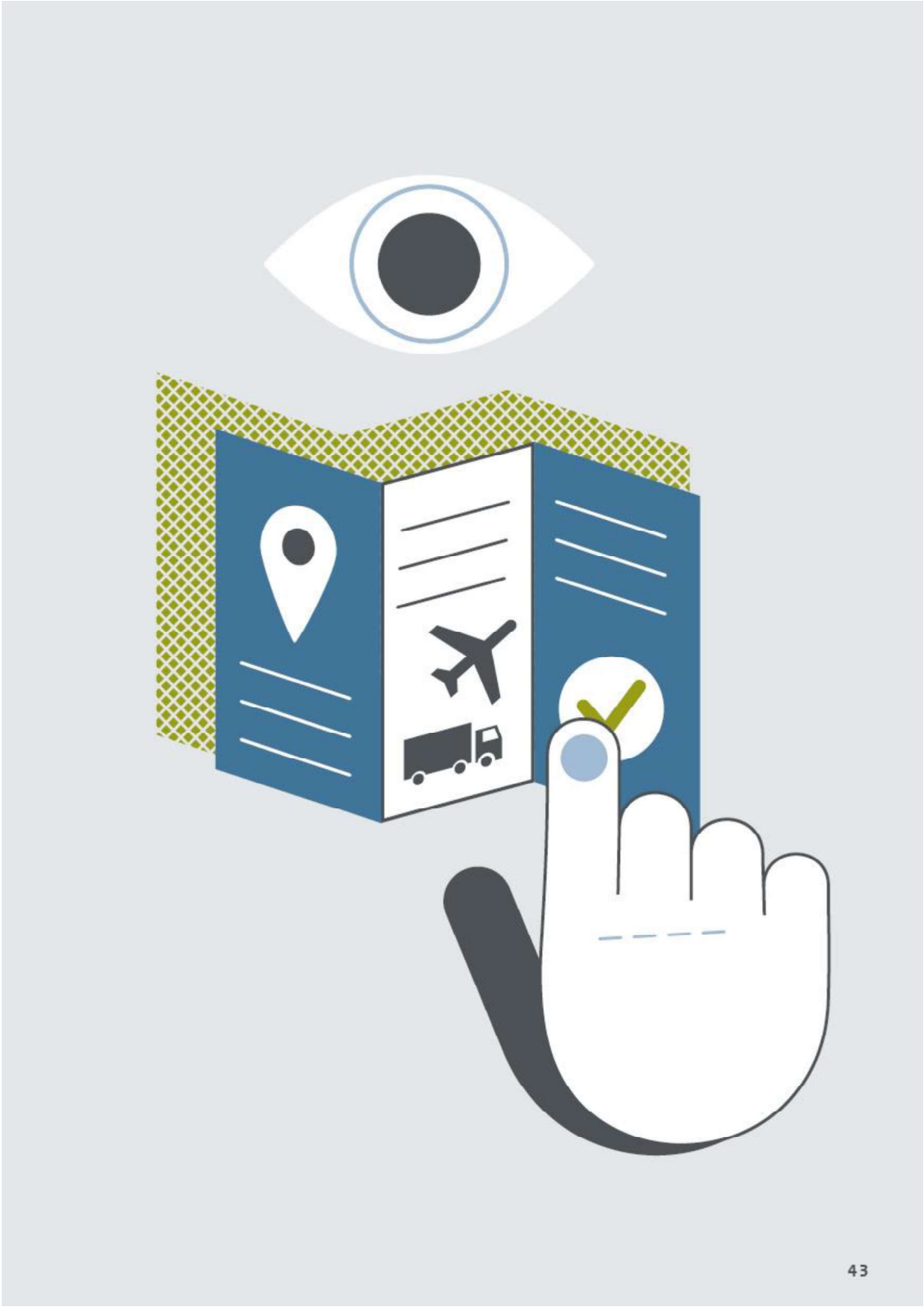
製品およびサービスの輸入または輸出に関する意思決定を行う場合、私は、その決定が輸出規制に該当するかどうかを意識的に確認します。疑わしい場合は、第6章に記載されている担当者からアドバイスを求めます。

事例



あなたは、ポルシェホールディングに発注し、当社グループが禁輸国に指定している国に製品を供給することを望む潜在顧客から引き合いを受けました。

このような場合、供給予定国に適用される輸出規制(例:国連の禁輸措置)について関連部門に確認し、問題を明確化しなければなりません。また、問題が完全に明らかになるまで、この国への輸出を会社に義務付ける契約を締結してはいけません。



インサイダー取引の禁止

背景

株式、その他の有価証券または金融商品の取引における内部情報の利用や開示は、法令(例えばヨーロッパにおいては、「市場の乱用に対する刑事制裁に関する指令 (Market Abuse Directive)」)により禁止されています。また、第三者にインサイダー取引および内部情報の不正開示を勧めたり、煽り立てたりすることも、同様に禁止されています。関係する国の法令には、さらなる禁止事項が規定される場合もあります。内部情報とは、公開された場合に関連有価証券(例:フォルクスワーゲン株式)または金融商品の価格に大きな影響が及ぶことが見込まれる未公開の正確な情報を指します。

会社の原則

当社は、資本市場の要件に応じて株式の値動きに関連する情報を取り扱い、インサイダー取引は一切許容しません。また当社は、インサイダーに関連するプロジェクトやプロセスに関連する知識を、適用される社内ルールに基づいて社内でのみ使用するとともに、そのような知識を家族(例:配偶者)を含めた外部に漏洩させることはありません。



私たちにできること

私は、インサイダー取引にかかわったり、第三者にそれを勧めたり、第三者を煽り立てたりすることはありません。さらに、私は、通常の業務の中で必要とされる場合を除き、内部情報を漏洩することなく、関連する内部ルールを順守します。また、適用される内部ルールをよく理解することを約束します。

内部情報を知りうる立場にある場合、私は、その情報に基づいて有価証券や金融商品を購入したり、売却したりすることはありません。このことは、フォルクスワーゲングループに属する上場企業の株式やその金融派生商品の取引のみならず、一般(サプライヤーも含む)の有価証券や金融商品にも適用されます。

事例



あなたは、ボルシェホールディングでの業務を通じ、新たな事業の取得が近く公表されることを知りました。あなたは、あなたの親友が現在、自身で所有するフォルクスワーゲン株の売却を検討していることを知っています。新領域事業の取得が公表されると、フォルクスワーゲン株の価格が上がる可能性が高いため、あなたは、友人に株式の売却を控えるべきだと伝えることを検討しています。

このような場合、いかなる状況でも、友人に情報を与えてはいけません。あなたが知った情報は公開されておらず、内部的な知識であるため、この知識を他人に教えることは、いかなる状況でも許されません。この知識を直接的または間接的に伝達することは、訴追の対象となります。

5

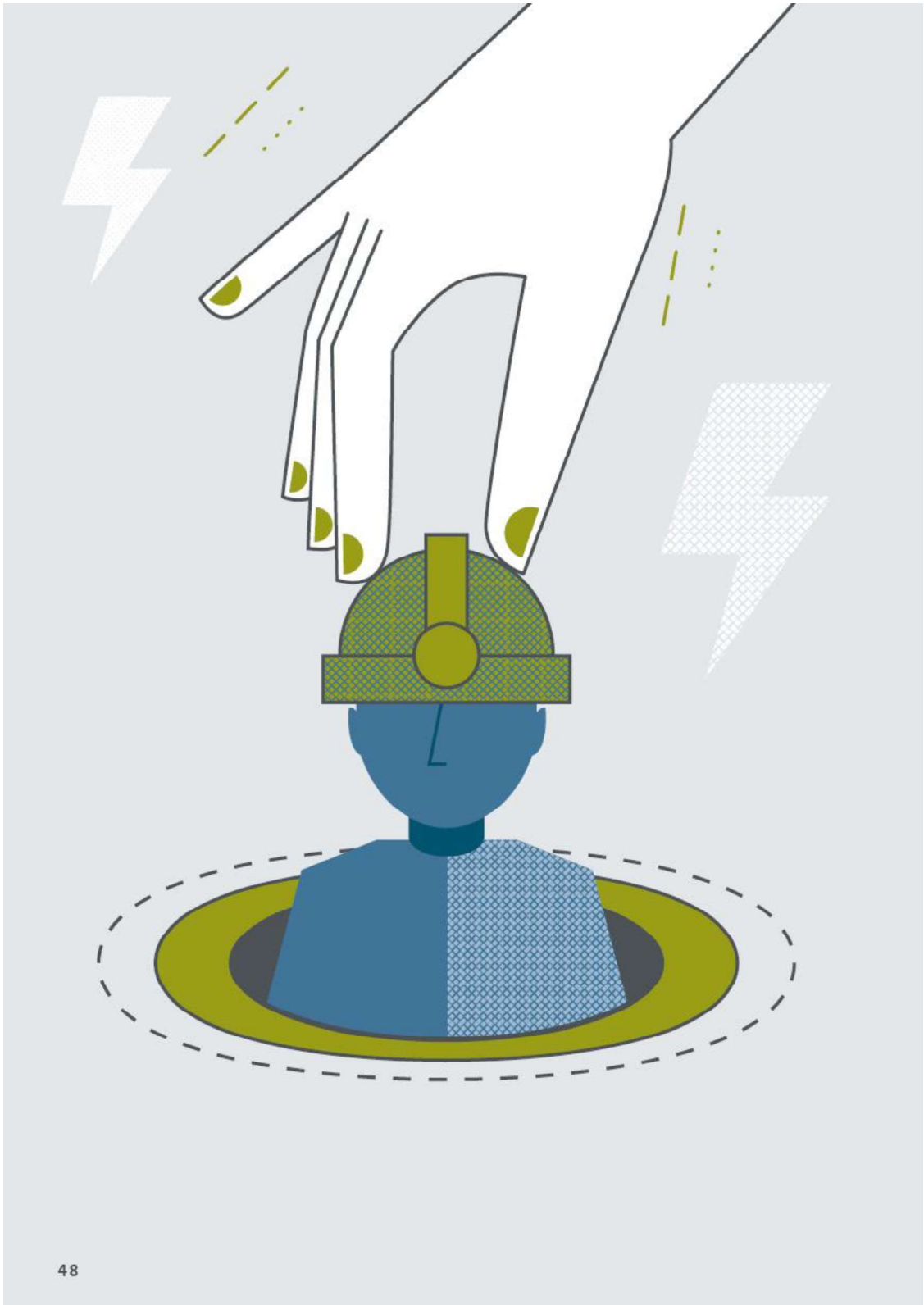
職場における私たちの責任

すべての従業員の健康および安全を保護することは、ポルシェホールディングの基本的な関心事です。

保護およびセキュリティの原則は、従業員およびお客様のデータ、ならびに会社固有のノウハウや会社資産の保護にも適用されます。

職場におけるフォルクスワーゲンの責任を果たすために必要な会社の原則を以下にご紹介します。





労働安全およびヘルスケア

背景

ポルシェホールディングは、従業員の安全と健康に対する責任に全力で取り組んでいます。当社は、国内規則および当社の労働衛生安全ポリシーにのっとり、労働安全およびヘルスケア関連の施策を提供しています。

会社の原則

作業環境の継続的な改善、さまざまな予防的ヘルスケアおよび健康増進対策を通じて、当社は衛生、生産性、および従業員満足度の維持向上に努めます。

私たちにできること

私は、労働衛生安全ルールを順守します。また、私は、同僚やビジネスパートナーの健康や安全を決して危険にさらすことはありません。さらに、適切かつ法律上の予防措置をすべて実施し、私の職場において、安全な作業が常に実施可能であることを保証します。私は、予防的ヘルスケアや健康増進対策に自主的に参加することで、自分の健康の維持と増進に積極的に貢献します。

事例



あなたは、自分の部門の機械に電子的な障害が発生していることに気がきました。

このような場合、その機械の作動を停止させるとともに、「故障中」のサインを見やすく表示します。さらに、電気機器の修理を自分で行うことは許容されおらず、危険も伴うため、適切な部門に修理を依頼します。

データ保護

背景

個人情報を取り扱う場合、プライバシーを保護するために、特別な法的規制が設定されています。原則として、個人情報の収集、保管、処理、およびその他の利用を行う場合、当該個人の同意、契約の取り決め、またはそれ以外の法的根拠が必要です。

会社の原則

当社は、従業員、退職者、お客様、サプライヤー、その他の関係当事者の個人情報を保護します。

また、当社は、法規定を厳守して、個人情報の収集、蓄積、処理、使用、保管を行います。

私たちにできること

私は、当該個人の同意、契約上の取り決め、またはその他の法的根拠がある場合に限り、個人情報を収集、保管、処理し、その他の利用を行います。

このような場合、すべてのデータ処理コンポーネントは、機密データの機密性、完全性、可用性、検証可能性、信頼性が保証されるとともに、内部または外部からの不正アクセスが防止されるように、保護されなければなりません。

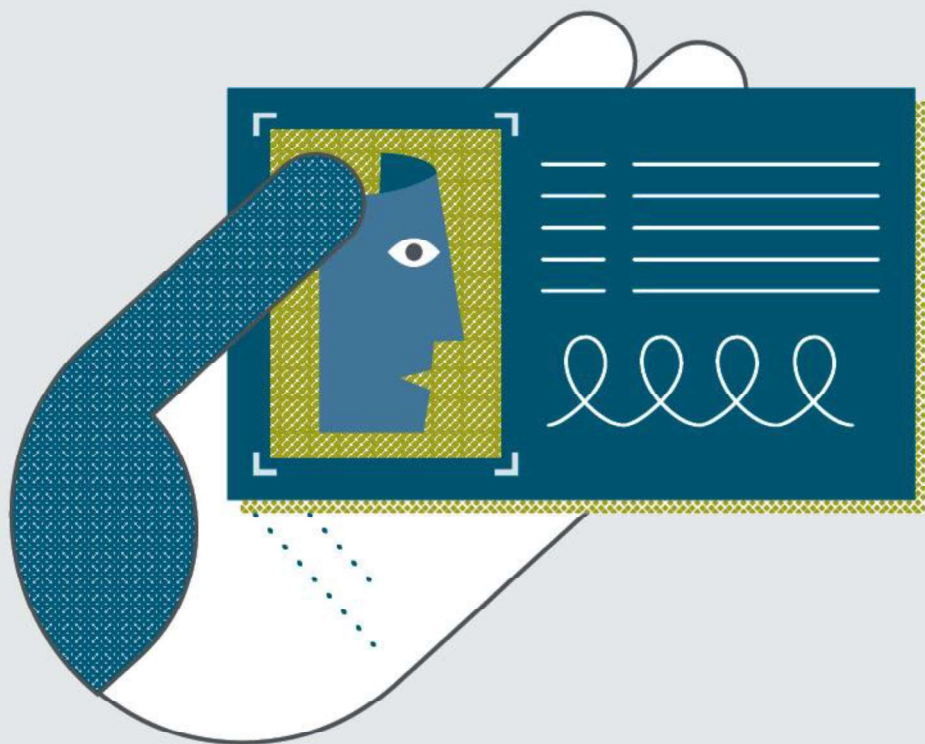
疑わしい場合は、上司またはデータ保護に関連する部門に連絡します。

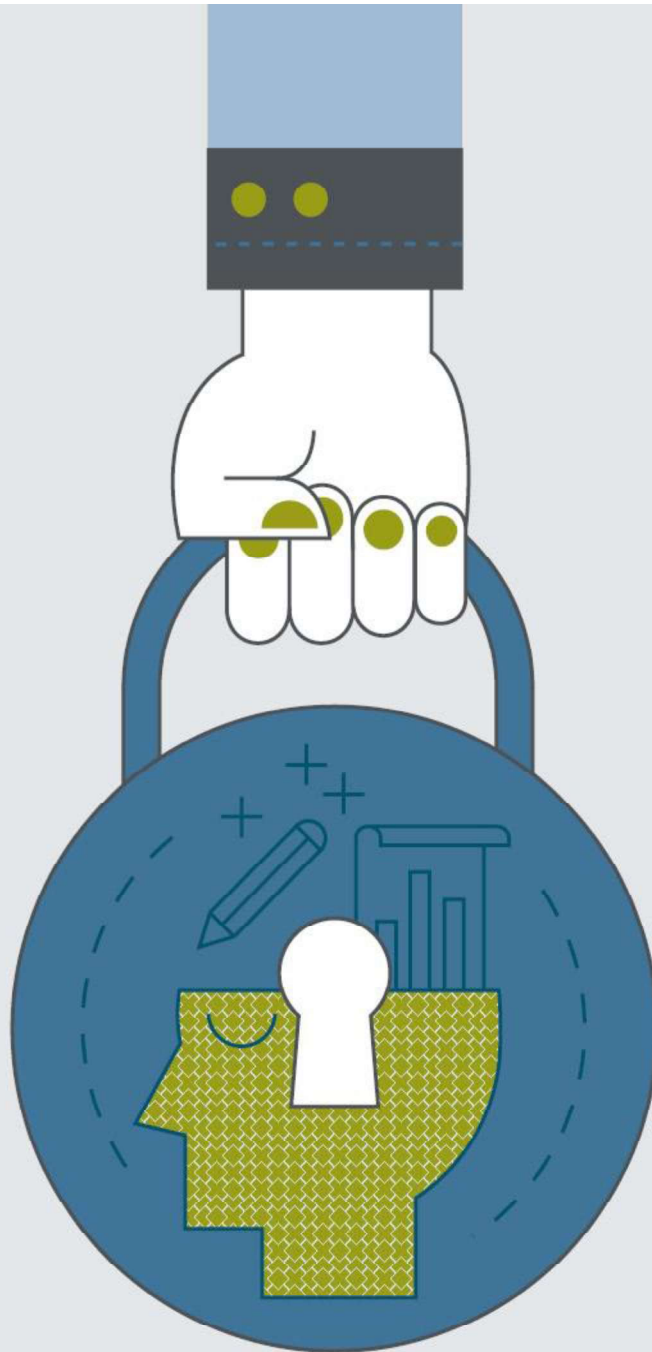
事例



あなたは、ポルシェホールディング向けに、外部の人も参加するセミナーを手配し、参加者の個人情報を受取りました。ある同僚があなたに、アドレスを譲ってほしいと依頼しています。

このような場合、上述の連絡先のいずれかに相談することなく、データを渡してはいけません。原則として、データは周知した目的でのみ使用することができません。





情報、ノウハウ、 知的財産のセキュリティおよび保護

背景

フォルクスワーゲングループは、国際的に保護される特許を保有しており、ポルシェホールディングと同様に、技術的ノウハウに加えて、広範囲に及ぶ営業秘密および企業秘密を保持しています。この知識は、当社の事業の成功の基盤です。このような知識を不正に送信すると、会社にとって甚大な損失につながる可能性があるばかりか、関係した従業員に労働法、民法、刑法に基づく結果がもたらされる可能性があります。

会社の原則

当社は、会社のノウハウの価値を認識しており、その保護に細心の注意を払っています。また、当社は、競合他社、ビジネスパートナー、その他の第三者の知的財産も尊重します。

私たちにできること

私は、ポルシェホールディングのすべての情報を注意深く取扱うとともに、許可されていない人に開示することはありません。さらに、技術ノウハウ、特許、営業秘密および企業秘密に関する情報には、特別な注意を払います。

事例



あなたは、革新的な技術の開発に関与しています。あなたは自分の開発について会社の様々な拠点で発表することになっており、プレゼンテーションのために関連文書を保存したノートパソコンを持参したいと思っています。さらに、飛行機や列車でそれぞれの拠点に向かう途中で、これらの文書を見直すことを計画しています。

このような場合、競争力の重大な損失につながる恐れがあるため、ポルシェホールディングに属する機密情報についての知識が、誰の手にも渡らないようにしてください。第三者が情報を得たり、メモを取ったりすることが可能な場所で、この種類の情報を読み出さないでください。

ITセキュリティ

背景

情報技術 (IT) および電子データ処理 (EDP) は、ポルシェホールディングの日常業務に欠くことのできないものになっています。これらの技術は、同時に、さまざまなリスクを伴います。その中でも最大のリスクは、マルウェア (ウイルス) によるデータ処理障害、プログラムエラーによるデータ喪失、データの不正利用 (例: ハッカーによる不正) があります。


会社の原則

当社は、ITおよびEDPセキュリティを尊重し、適用される規則を順守します。

私たちにできること

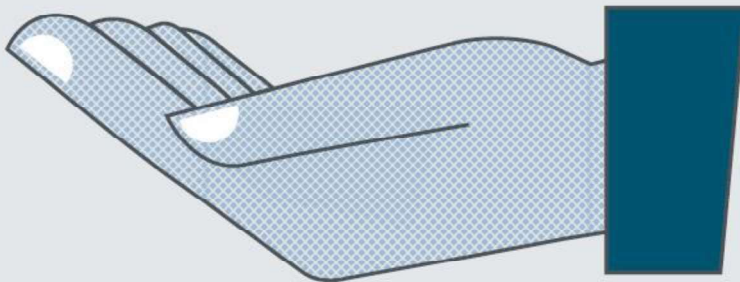
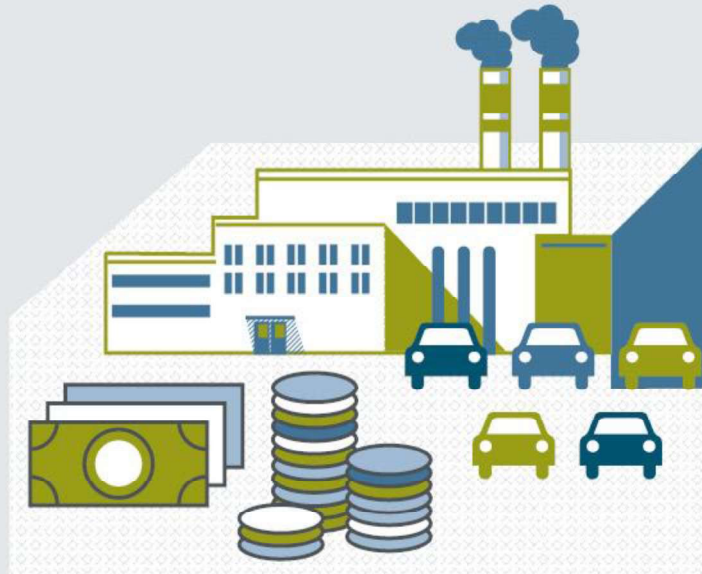
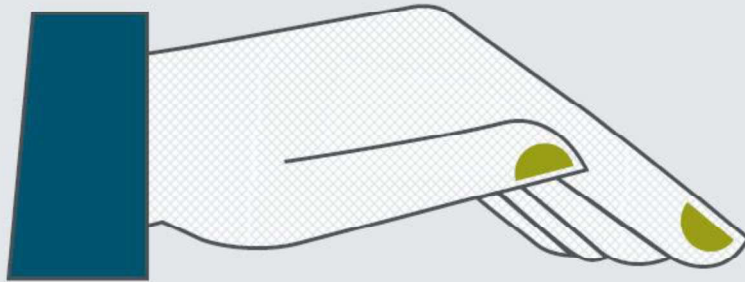
私は、適用されるITセキュリティ規則をよく理解し、そこに含まれるルールを順守します。暗号化されていないデータ交換 (例: Eメール、USBメモリなど) は、安全な通信方法ではないことを認識しています。

事例

 あなたは外出しており、会議で文書を交換するためにUSBメモリを貸与されています。

安全なデータ記憶媒体または安全なデータ交換システムのみを使用し、内部ガイドラインに従って進めてください。例えば、文書をEメールで送信するように手配します。例えば、文書が自分宛てに送られるように手配してください。疑わしいEメールまたは添付ファイル、あるいは、知らないアドレスから来たEメールは、決して開かないでください。これにより、マルウェアの会社ネットワークへの侵入を防止することができます。





会社資産の取り扱い

背景

ボルシェホールディングの有形および無形の資産は、当社の従業員が会社の事業目標を達成するのに役立つもので、内部ルールに従ってのみ使用できます。

会社の原則

当社は、会社の有形および無形の資産を尊重し、業務目的以外で使用することはありません。

私たちにできること

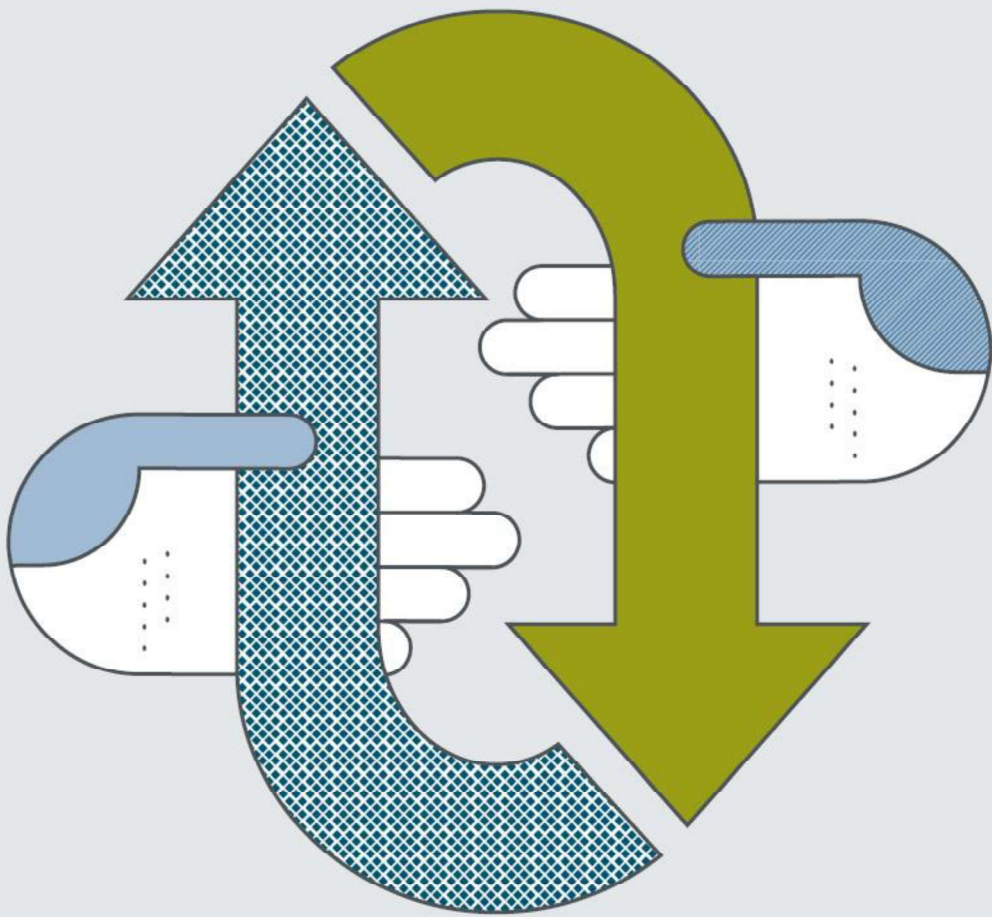
私は、会社のルールに従うとともに、会社資産の取り扱いに注意を払います。

事例



あなたのサッカークラブは、週末に遠征を計画しています。クラブの指導者が、ボルシェホールディング従業員であるあなたに、会社の保有車両を手配できないか聞いてきました。

会社の車両は一般的に、市場と同等の条件で従業員がレンタルできます。車両をプライベートな目的のために無償で使用することはできません。また、第三者に使用させることもできません。



6 サポート

必要な場合には、社内外の連絡窓口が行動規範の取り扱いに関するサポートを提供します。さらに、自主的な関与および原則が適用されます。

以下のアドレスから、概要を確認できます。

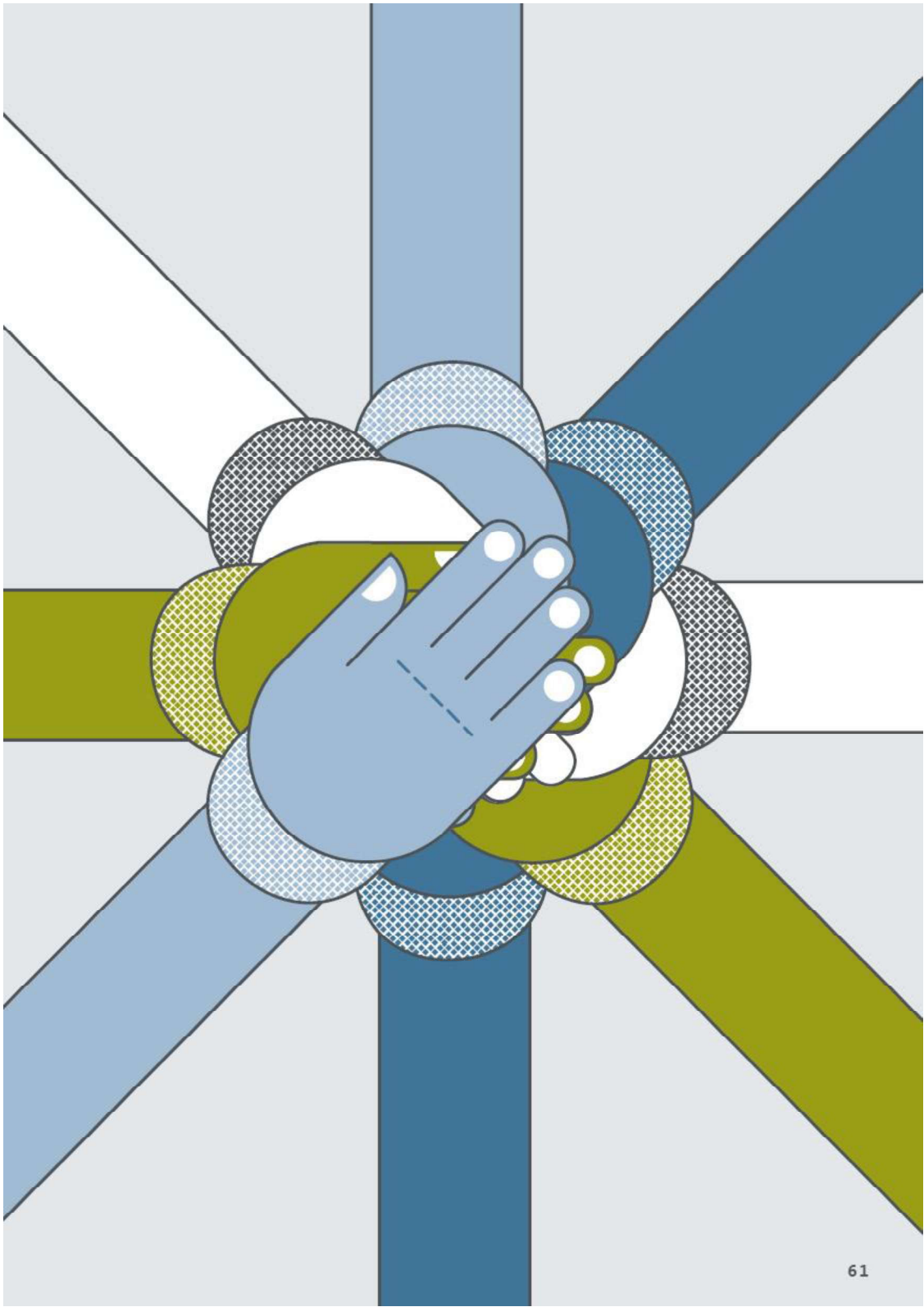
<http://www.volkswagenag.com/en/sustainability/policy.html>

従業員代表

当社は、労働組合を組織し、従業員代表を設定する全従業員の基本的な権利を認めます。

当社は、率直かつ誠実に従業員代表と協力するとともに、建設的かつ協力的な対話を行い、公正な利益のバランスを得るために努力することを約束します。

従業員代表との実務的な交渉において、特権の付与や差別を許さないということは、当社の企業文化の一部です。フォルクスワーゲン、ボルシェホールディングおよびその従業員の将来を守ることは、経済的かつ技術的競争力を確保することを基本とするとともに、これを目標に据えた、協力的なコンフリクト管理および社会的な約束の精神によって保護されます。経済的継続性と仕事は、同等であり、共通の目標です。



ヘルプ／連絡先／ オンブズパーソンシステム

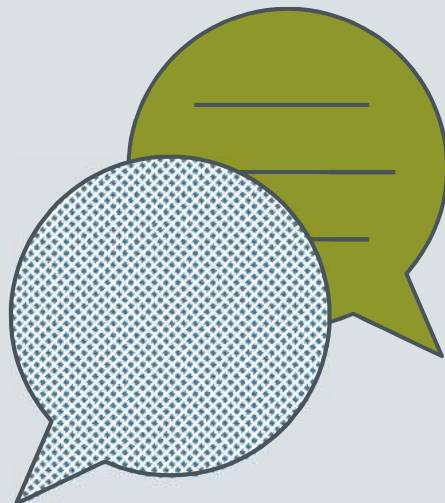
行動規範に関する質問や疑問点に関する最初の窓口は、上司または人事部です。また、従業員代表に連絡することもできます。さらに、すべての従業員は会社のコンプライアンスオフィサーに問い合わせるか、次のジェネラルコンプライアンスオフィスにEメールを送信できます。

E-mail: compliance@porsche.co.at

さらに、既存の社内規則に関する苦情や情報を関連オフィスに申し入れることもできます。

職場環境において行動規範への違反や重大な規制違反が疑われる場合、フォルクスワーゲングループ内部告発制度を利用し、実名または匿名でそれを報告することができます。重大な規制違反は、フォルクスワーゲングループまたはグループ会社の評判または経済的利益を著しく損ないます。マネジメントサークルまたはそれ以上に属していて、重大な規制違反の具体的な証拠を持っているマネージャーは、模範として行動し、そのような疑いがある場合には、直ちに関連するオフィスに報告する義務を負います。マネージャーがこの義務を果たさないことは、それ自体が重大な規制違反であり、対応する制裁を受けることになります。

内部告発制度のインベスティゲーションオフィスは、会社に関連する重大な規制違反を報告するための中心的な社内連絡窓口です。本制度は、標準化された迅速なプロセス、および社内の専門家による情報の機密的かつ専門的な処理により成り立っています。内部告発制度の下での公正で透明な手順により、会社、関係者、および内部告発者が保護されます。内部告発制度の悪用は容認されません。内部告発制度を故意に悪用する人は重大な規制違反を犯していることになり、懲戒処分が該当します。同様に、内部告発者に対する報復や差別を容認しません。これも重大な規制違反であり、懲戒処分が課されます。関係者に関しては、規制違反が証明されない限り、無罪の推定が適用されます。したがって、重大な規制違反の具体的な証拠がある場合にのみ、調査が開始されます。



内部告発制度は、以下のチャネルからアクセスできます。

Email: io@volkswagen.de
Telefon: +800 444 46300,
+49 5361 946300

郵送先住所:
インベスティゲーションオフィス
38436 ウォルフスブルグ
私書箱 1717

さらに、経験豊富な社外弁護士が、中立的な調停者(オンブズパーソン)としての役割を果たします。彼らは、法律顧問として、法律および内部規則違反、またはフォルクスワーゲングループに損害を与える可能性のあるその他の行為に関する報告を受け、必要に応じて、内部告発者の身元が明らかな場合で、フィードバックを必要とする際には内部告発者と直接連絡を取ります。準備が完了すると、オンブズパーソンは、内部告発者と合意した情報を—内部告発者が希望する場合は匿名で—以後の処理のために内部告発制度に送ります。

オンブズパーソンの連絡先詳細:

<http://www.volkswagenag.com/en/group/compliance-and-risk-management/whistleblowersystem.html>

フォルクスワーゲングループの内部告発制度とオンブズパーソンについての詳細は、以下のアドレスから確認できます。

<https://www.volkswagenag.com/hint>



意思決定チェック のための自己診断

自分自身の行動がこの行動規範に設定されている原則に適合しているかどうか不明な場合は、次のような質問を自分に問いかけてみてください。

1. 関連する事柄をすべて考慮し、正しく比較検討しましたか？
(内容チェック)
2. この意思決定は、法令および社内規程に違反していないと自信を持って言えますか？(合法性チェック)
3. この意思決定が公になった場合でも、それを支持できますか？
(監督者チェック)
4. 同じような事例について、会社全体で同様の意思決定が下されることに賛成できますか？(普遍性チェック)
5. もし会社が公の場で説明を求められることになったとしても、この意思決定は正しかったと考えますか？(公開チェック)
6. もし私がこの決定によって影響を受ける立場だったとしても、納得できますか？(関与チェック)
7. 私の意思決定に対して、家族は何と言うでしょうか？
(セカンドオピニオン)

問1～6に対する答えが「はい」であり、問7の答えが肯定的であれば、あなたの行動は当社の原則に準拠している可能性が高いです。未回答の質問が残っている場合、または何か疑わしい点がある場合は、この章に記載されている窓口にご連絡してください。

© Volkswagen Aktiengesellschaftグループコンプライアンス部
私書箱1717
38436ウォルフスブルグ
ドイツ

Version 01/2021+